

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患政策研究事業

難治性血管炎の医療水準・患者 QOL 向上に資する研究

令和2年度～令和4年度 総合研究報告書

研究代表者

針 谷 正 祥

令和5年(2023年)3月

目次

I. 総合研究報告	
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する関するに調査研究	----- 1
針谷 正祥（東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座）	
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 7

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

総合研究報告書

難治性疾患等政策研究事業 難治性血管炎の医療水準・患者 QOL 向上に資する研究班

研究代表者 針谷正祥 東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野 教授

研究代表者：針谷 正祥 東京女子医科大学 医学部 教授

研究分担者：田村 直人 順天堂大学 大学院医学研究科 教授

研究分担者：河野 肇 帝京大学 医学部 教授

研究分担者：猪原登志子 京都府立医科大学 附属病院臨床研究推進センター 講師

(伊藤登志子)

研究分担者：駒形 嘉紀 杏林大学 医学部 教授

研究分担者：杉山 斉 川崎医療短期大学 医療介護福祉学科 教授

研究分担者：坂東 政司 自治医科大学 医学部 教授

研究分担者：藤井 隆夫 和歌山県立医科大学 医学部 教授

研究分担者：石津 明洋 北海道大学 大学院保健科学研究院 教授

研究分担者：川上 民裕 東北医科薬科大学 医学部 教授

研究分担者：菅野 祐幸 信州大学 学術研究院医学系 教授

研究分担者：高橋 啓 東邦大学 医学部 教授

研究分担者：宮崎 龍彦 東海国立大学機構 岐阜大学 医学部附属病院 教授

研究分担者：中岡 良和 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 研究所血管生理学部 部長

研究分担者：石井 智徳 東北大学病院 臨床研究推進センター 特任教授

研究分担者：内田 治仁 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 教授

研究分担者：杉原 毅彦 聖マリアンナ医科大学 医学部 准教授

研究分担者：新納 宏昭 九州大学 大学院医学研究院 教授

研究分担者：吉藤 元 京都大学 大学院医学研究科 講師

研究分担者：渡部 芳子 川崎医科大学 医学部 講師

研究分担者：要 伸也 杏林大学 医学部 教授

研究分担者：天野 宏一 埼玉医科大学 医学部 教授

研究分担者：和田 隆志 金沢大学 学長

研究分担者：佐田 憲映 高知大学 医学部 特任教授

研究分担者：土橋 浩章 香川大学 医学部 准教授

研究分担者：長坂 憲治 東京医科歯科大学 医学部医学科 非常勤講師

研究分担者：南木 敏宏 東邦大学 医学部 教授

研究分担者：古田 俊介 千葉大学 医学部附属病院 特任講師

研究分担者：坪井 直毅 藤田医科大学 医学部 教授

研究分担者：廣村 桂樹 群馬大学 大学院医学系研究科 教授
 研究分担者：樋口 智昭 東京女子医科大学 医学部 特任講師
 研究分担者：土屋 尚之 筑波大学 医学医療系 教授
 研究分担者：中村 好一 自治医科大学 医学部 教授
 研究分担者：佐伯 圭吾 公立大学法人奈良県立医科大学 医学部 教授
 研究分担者：前嶋 康浩 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 准教授

研究要旨 【目的】難治性血管炎疾患の医療水準の向上や患者の QOL 向上等により、研究開発推進の司令塔として難病・小児慢性特定疾病対策の推進に貢献することを目的とする。【方法】班内に4つの分科会を設置し、各分科会長を中心に3年間の研究課題を実施した。【結果】領域横断分科会ではオンライン市民公開講座、関連学会との合同シンポジウム、血管炎疾患の治療実態についてアンケート調査、国際共同研究支援、新規検査および治療の開発状況調査、システマティックレビュー勉強会を実施した。臨床病理分科会では血管炎病理診断コンサルテーション、GCA の大動脈炎病変の特徴、AAV の上気道生検組織の特徴、結節性多発動脈炎と皮膚動脈炎の病理組織の人工知能による鑑別、FFPE 切片を用いた血管壁免疫グロブリン沈着の検出に関する研究を実施した。大型血管炎臨床分科会では指定難病の通知修正、診断基準・重症度分類改訂、大型血管炎の前向き研究・後ろ向き研究、臨床調査個人票解析、高安動脈炎・巨細胞性動脈炎の全国疫学調査、高安動脈炎女性患者と妊娠・出産の実態調査、大型血管炎の寛解基準と治療目標、治療目標達成に向けた治療戦略策定、保険データベース研究、大型血管炎の心臓血管手術症例に関する症例登録研究を実施した。中・小型血管炎臨床分科会では ANCA 関連血管炎診療ガイドライン改訂・刊行、指定難病の通知の修正、診断基準・重症度分類改訂、臨床調査個人票の解析と論文発表、結節性多発動脈炎の全国疫学調査、RemIRIT 研究データベースの解析・論文作成を実施した。両臨床分科会では【RADDAR-J [22]】(難病プラットフォーム利用)への患者登録を進めた。【考案】これらの研究成果によって、難治性血管炎の医療水準の均てん化と更なる向上がもたらされた。

A. 研究目的

難治性血管炎疾患の医療水準の向上や患者の QOL 向上等により、研究開発推進の司令塔として難病・小児慢性特定疾病対策の推進に貢献することを目的とする。

B. 研究方法

本研究では、以下の8指定難病(括弧内は指定難病告示番号)と、これら以外の難治性血管炎疾患を対象とする。指定難病：高安動脈炎(40)、巨細胞性動脈炎(41)、結節性多発動脈炎(42)、顕微鏡的多発血管炎(43)、多発血管炎性肉芽腫症(44)、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(45)、悪

性関節リウマチ(46)、バージャー病(47)。

全体目標は以下の7項目である。1)診療ガイドライン(GL)改訂、2)診断基準改訂、3)重症度分類改訂、4)AMED 研究班との共同研究、5)診療実態とその変化の把握、6)疾患および治療法の普及・啓発、7)若手研究者の育成。

4分科会を設置し、各年度に班会議をオンラインで2回ずつ開催し研究の進捗状況を確認した。RADDAR-J[22]は専任の事務補佐員を雇用し、適切にデータ管理を実施した。個別の研究課題は成果が得られたものから論文化し、その結果を公表した。

(倫理面への配慮)

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守して実施した。

C. 研究結果

1) 領域横断分科会：オンライン市民公開講座の14コンテンツを作製し当研究班ウェブサイトから視聴可能とした。関連学会との血管炎に関する合同シンポジウム等を2件開催した。診療実態に関するアンケート調査を、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎・巨細胞性動脈炎についてそれぞれ実施し、結果を論文化した。

妊娠した血管炎患者の国際レジストリである Vasculitis Pregnancy Registry (V-PREG) 研究に参加し、患者会と協力のもとで患者向けハンドアウトの日本語版を作成した。VCRC Investigators Meetingに参加し、国際共同研究を促進した。新規検査および治療の開発状況について収集した情報を研究班ウェブサイトに掲載した。ANCA 関連血管炎診療ガイドライン作成のシステマティックレビュー(SR)勉強会を開催し、SR 結果を論文化した。

2) 臨床病理分科会：56件の依頼症例に対し血管炎病理診断コンサルテーションを実施した。巨細胞性動脈炎の大動脈炎病変の特徴（多核巨細胞を含む炎症病変が大動脈中膜の中層に帯状に広がる、大動脈栄養血管に沿った炎症所見は乏しく外膜の線維化に乏しい）、ANCA 関連血管炎の上気道生検組織の特徴（筋性動・静脈炎、筋性動・静脈の閉塞）、結節性多発動脈炎(PAN)と皮膚動脈炎(CA)の病理組織の人工知能による鑑別（人工知能はPANとCAの画像を83.5%の確度で鑑別可能）、FFPE切片を用いた血管壁免疫グロブリン沈着の検出方法の最適化、に関する研究を進めた。ウェブ版血管炎病理アトラスを英文化した Expert Perspectives on Pathological Findings in Vasculitis を作成し、論文化した。

3) 大型血管炎臨床分科会：高安動脈炎、巨細胞性動脈炎の難病情報センターの通知改訂と重症度分類改訂を提案した。高安動脈炎、巨細胞性動脈

炎、バージャー病の診断基準ならびに重症度分類の修正希望を関連学会に承認を依頼して厚生労働省へ提出した。バージャー病の診断基準の修正案を日本循環器学会/日本血管外科学会合同ガイドライン末梢動脈疾患ガイドライン（2021年改訂版）に掲載した。大型血管炎の前向き研究には191例が、後ろ向き研究には311例が登録され、本邦の巨細胞性動脈炎の臨床的特徴・治療反応性を2論文で報告した。2022年米国リウマチ学会・欧州リウマチ会議 GCA 分類基準を日本人コホートに適用した際の感度は82.0%、特異度は96.9%であった。高安動脈炎（投稿中）、バージャー病（論文化）の臨床調査個人票を解析した。大型血管炎の心臓血管手術症例に関する症例登録研究を開始し、高安動脈炎68例、巨細胞性動脈炎4例が登録された。大型血管炎の全国疫学調査結果を解析し、高安動脈炎患者数は5320名、巨細胞性動脈炎患者数は3200名と推計された（論文化）。高安動脈炎女性患者と妊娠・出産の実態調査を実施し、51症例、69妊娠の登録を得た。69妊娠のうち66妊娠（95.7%）で生産児が得られた（投稿準備中）。「AMED 難治性疾患実用化研究事業難治性血管炎診療のCQ解決のための多層的研究」班との共同研究として、大型血管炎の寛解基準と治療目標、治療目標達成に向けた治療戦略を論文発表した。保険データベースを用いて高安動脈炎の診療実態に関する疫学研究を実施した（投稿準備中）。「小児発症高安動脈炎の子どもと親のためのガイドブック」をウェブ出版し、当研究班ウェブサイトからダウンロード可能とした。「小児リウマチ疾患トシリズムマブ治療の理論と実際」（メディカルレビュー社・監修 伊藤秀一/森雅亮）を2023年3月27日刊行した。

4) 中・小型血管炎臨床分科会：ANCA 関連血管炎診療ガイドライン改訂ではSR、パネル会議開催を経て推奨文を確定し、令和5年4月に「ANCA 関連血管炎診療ガイドライン2023」を発刊した（難治性腎疾患に関する調査研究班、びまん性肺疾患に関する調査研究班との合同編集）。「抗リン脂質抗体

症候群・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症・結節性多発動脈炎・リウマトイド血管炎の治療の手引き 2020」を令和3年3月に発刊した。中・小型血管炎5疾患の指定難病の通知および臨床調査個人票の改定案を厚生労働省に提出した。悪性関節リウマチ、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症の臨床調査個人票を解析し、論文化した。結節性多発動脈炎の全国疫学調査で患者数は2200人と推計され、男女比は1:1.4、診断時の平均年齢は51.8歳であった。RemIRIT研究データベースを解析し、本邦の顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症に対するリツキシマブ治療による寛解導入率71%、重症感染症の関連因子を論文報告した。2022年米国リウマチ学会・欧州リウマチ会議 ANCA 関連血管炎分類基準と厚生労働省診断基準を比較し、論文化した。ANCA 関連血管炎のゲノム解析を進め、疾患フェノタイプと関連するバリエントが同定された（論文化）。小児慢性特定疾患「川崎病性冠動脈瘤」から継続した「川崎病性巨大冠動脈瘤」を本班が代表申請組織となり関連7学会と共に指定難病疾病追加申請を行ったが、承認されなかった。

5) RADDAR-J [22]: 高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の5疾患について、難病プラットフォームを用いた【RADDAR-J [22]】を令和2年度から開始し、206例が登録された。今後、各分科会で解析を行う。「難病のゲノム医療推進に向けた全ゲノム解析」班で ANCA 関連血管炎の全ゲノム解析を48例実施した。

6) 医師主導治験 (AMED 班との共同研究): 顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験 (研究開発代表者 針谷正祥) と協力して、医師主導治験を実施した。目標症例数48例のうち39例を登録し、治験継続中である。

本研究課題で作成した診療ガイドライン、治療の手引き、ガイドブック等は書店での販売、研究班

または Minds ウェブサイトからのダウンロードなどにより提供していく。本研究班のウェブサイトは令和5年度以降も継続して開設し、本研究課題の成果を国民および研究者等に提供する。

D. 考察

大型血管炎臨床分科会のレジストリ研究では、本邦の血管炎専門施設から多数の症例が集積され、大型血管炎の臨床的特徴が明らかとなった。その一方、特に後ろ向き研究ではデータの欠損を避けることができない問題点が浮き彫りとなった。研究班参加施設内での推奨するフォローアップ方法などを決めておくことで、研究効率が改善する可能性がある。

全国疫学調査を2疾患で実施し、希少疾患の患者数把握、臨床病型の解析に有用であった。多数の研究班が同様な全国疫学調査を行うことで、参加施設への負荷が大きくなることが避けられず、今後何らかの対策が必要かもしれない。

診療ガイドライン作成・改訂は、難治性疾患政策研究班の中心的な課題の一つである。今回の顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症診療ガイドライン改訂では、コクラン・ジャパンのご協力によりシステマティックレビューチームを公募し、実際のクリニカルクエスチョンを用いたシステマティックレビューを実施した。この活動を通じて、若手人材を育成できたことは今後のガイドライン作成に良い効果をもたらすと期待される。

E. 結論

本研究課題の実施を通して、難治性血管炎疾患の医療水準および患者のQOLの更なる向上に寄与することができた。今後とも、難治性血管炎の基礎・臨床医学研究を推進する必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

・針谷正祥、成田一衛、須田隆文. ANCA 関連血管炎診療ガイドライン 2023. 診断と治療社. 東京.

・針谷正祥. 抗リン脂質抗体症候群・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症・結節性多発動脈炎・リウマチイド血管炎の治療の手引き 2020. 診断と治療社. 東京.

・Konda N, Sakai R, Saeki K, Matsubara Y, Nakamura Y, Miyamae T, Nakaoka Y, Harigai M. Nationwide clinical and epidemiological study of large-vessel vasculitis in Japan in 2017. *Mod Rheumatol.* 2023; road019.

・Sugihara T, Uchida HA, Yoshifuji H, Maejima Y, Naniwa T, Katsumata Y, Okazaki T, Ishizaki J, Murakawa Y, Ogawa N, Dobashi H, Horita T, Tanaka Y, Furuta S, Takeuchi T, Komagata Y, Nakaoka Y, Harigai M. Association between the patterns of large-vessel lesions and treatment outcomes in patients with large-vessel giant cell arteritis. *Mod Rheumatol.* 2022; roac122.

・Sugihara T, Nakaoka Y, Uchida HA, Yoshifuji H, Maejima Y, Watanabe Y, Amiya E, Tanemoto K, Miyata T, Umezawa N, Manabe Y, Ishizaki J, Shirai T, Nagafuchi H, Hasegawa H, Miyamae T, Niuro H, Ito S, Ishii T, Isobe M, Harigai M. Establishing clinical remission criteria and the framework of a treat-to-target algorithm for Takayasu arteritis: Results of a Delphi Exercise carried out by an expert panel of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis. *Mod Rheumatol.* 2022; 32(5), 930-937

・Sada KE, Kaname S, Higuchi T, Furuta S, Nagasaka K, Nanki T, Tsuboi N, Amano K, Dobashi H, Hiromura K, Bando M, Wada T, Arimura Y, Makino H, Harigai M. Validation of new ACR/EULAR 2022 classification criteria for anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *Mod*

Rheumatol. 2023 Jan 27:road017. doi: 10.1093/mr/road017.

・Nagasaka K, Amano K, Dobashi H, Nagafuchi H, Sada KE, Komagata Y, Yamamura M, Kato M, Endo T, Nakaya I, Takeuchi T, Murakawa Y, Sugihara T, Saito M, Hayashi T, Furuta S, Tamura N, Karasawa K, Banno S, Endo S, Majima M, Kaname S, Arimura Y, Harigai M. Nation-wide Cohort Study of Remission Induction Therapy using Rituximab in Japanese patients with ANCA-Associated Vasculitis: effectiveness and safety in the first six months. *Mod Rheumatol.* 2022 Dec 8:roac150. doi: 10.1093/mr/roac150. Online ahead of print.

・Miyawaki Y, Fujii T, Anan K, Kodera M, Kikuchi M, Sada KE, Nagasaka K, Bando M, Sugiyama H, Kaname S, Harigai M, Tamura N. Concordance between practice and published evidence in the management of ANCA-associated vasculitis in Japan: a cross-sectional web-questionnaire survey. *Mod Rheumatol.* 2022 Oct 1:roac118. doi: 10.1093/mr/roac118. Online ahead of print.

・Watanabe R, Oshima M, Nishioka N, Sada KE, Nagasaka K, Akiyama M, Ando T, Higuchi T, Inoue Y, Kida T, Mutoh T, Nakabayashi A, Onishi A, Sakai R, Waki D, Yamada Y, Yajima N, Tamura N, Kaname S, Harigai M. Systematic review and meta-analysis for 2023 clinical practice guidelines of the Japan research committee of the ministry of health, labour, and welfare for intractable vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis. *Mod Rheumatol.* 2022 Sep 16:roac114. doi: 10.1093/mr/roac114. Online ahead of print.

・Nagasaka K, Kaname S, Amano K, Kato M, Katsumata Y, Komagata Y, Sada KE, Tanaka E,

Tamura N, Dobashi H, Nanki T, Harabuchi Y, Bando M, Homma S, Wada T, Harigai M. Nation-wide survey of the treatment trend of microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan using the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare Database. *Mod Rheumatol* 2022;32: 915-922.

• Kawazoe M, Nanki T, Hagino N, Ikegaya N, Ito S, Kodera M, Nakano N, Suzuki M, Kaname S, Harigai M. Clinical characteristics of patients with polyarteritis nodosa based on a nationwide database in Japan. *Mod Rheumatol*. 2022;32(3):598-605.

• Ishizu A, Kawakami T, Kanno H, Takahashi K, Miyazaki T, Ikeda E, Oharaseki T, Ogawa Y, Onimaru M, Kurata M, Nakazawa D, Muso E, Harigai M. Expert Perspectives on Pathological Findings in Vasculitis. *Mod Rheumatol* 33(1): 1-11, 2023.

• Kawasaki A, Sada KE, Kusumawati PA, Hirano F, Kobayashi S, Nagasaka K, Sugihara T, Ono N, Fujimoto T, Kusaoi M, Tamura N, Kusanagi Y, Itoh K, Sumida T, Yamagata K, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. Association of HLA-class II alleles with risk of relapse in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody positive vasculitis in the Japanese population. *Front Immunol*, 2023; doi: 10.3389/fimmu.2023.1119064.

2. 学会発表

各分科会長の年次報告書を参照

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト（参考）

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
川上民裕	Vasculopathyについて (Vasculitisとの違いも含めて)	宮地良樹, 常深祐一郎, 鶴田大輔	WHAT'S NEW in 皮膚科学2020-2021	メディカルレビュー	東京	2020	158-159
坪井直毅	急速進行性腎炎症候群 (ANCA関連腎炎を含む)	福井次矢, 高木誠, 小室一成	今日の治療指針	医学書院	東京	2020	614-616
樋口 智昭	抗糸球体基底膜抗体病	東京女子医科大学膠原病リウマチセンター	Evidence Based Medicineを活かす膠原病リウマチ診療	株式会社メジカルビュー社	東京	2020	516-520
中岡良和	高安動脈炎	伊藤浩, 坂田泰史	臨床循環器病学	文光堂	東京	2021	294-298
渡部芳子	バージャー病, レイノー現象, 第5章A末梢動脈疾患	伊藤浩, 坂田泰史	臨床循環器病学	文光堂	東京	2021	314-316
田村直人	リウマトイド血管炎 (RV)	針谷正祥	抗リン脂質抗体症候群・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症・結節性多発動脈炎・リウマトイド血管炎の治療の手引き2020	診断と治療社	東京	2021	63-70
川上民裕	下肢に潰瘍をみたら	林伸和	むかしの頭で診ていませんか?皮膚診療をアップデート	南江堂	東京	2020	27-33
伊藤秀一	鑑別のポイント感染症ならびにリウマチ性疾患	日本川崎病学会	川崎病診断の手引きガイドブック2020	診断と治療社	東京	2020	28-31
杉山 斉	急速進行性糸球体腎炎	山縣邦弘, 南学正臣 編集	腎疾患・透析 最新の治療 2020-2022	南江堂	東京	2020年	116-119
杉原毅彦	巨細胞動脈炎, 高安動脈炎. Evidence based medicineを活かす	針谷正祥	膠原病・リウマチ診療第4版,	メジカルビュー社	東京	2020	468-487

川上民裕	血管炎・紫斑病	医療情報科学研究所	病気がみえるNo.14皮膚科	メディックメディア	東京	2020	331-345
中岡良和	血管炎の概念・定義、線維筋性異形成、膝窩動脈補足症候群	伊藤浩、坂田泰史	臨床循環器病学	文光堂	東京	2021	311-314
坂東政司	好酸球性肺炎	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の診断指針 私はこう治療している	医学書院	東京	2020	319-320
川上民裕	紫斑	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針2021年版 私はこう治療している	医学書院	東京	2021	1286-1288
伊藤秀一	紫斑病性腎炎	山縣邦弘、南学正臣	腎疾患・透析 最新の治療	南江堂	東京	2020	128-131
駒形嘉紀	大型血管炎	監修 竹内勤	日本医師会雑誌『免疫・炎症疾患のすべて』	日本医師会	東京	2020	S190-193
吉藤元	大型血管炎（高安動脈炎・巨細胞性動脈炎）	福井次矢・高木誠・小室一成	今日の治療指針（2021）	医学書院	東京	2021	pp898-9
坂東政司	特発性肺線維症（IPF）	永井良三	今日の治療指針第8版	医学書院	東京	2020	963-965
坂東政司	特発性肺線維症の国際ガイドライン	藤田次郎、喜舎場朝雄	間質性肺疾患診療マニュアル改訂第3版	南江堂	東京	2020	24-31
石津明洋	薬剤関連抗好中球細胞質抗体	監修 竹内勤 編集 渥美達也/岡田浩一/金子祐子/熊ノ郷 淳黒川峰夫/藤尾圭志	生涯教育シリーズ99 日本医師会雑誌第149巻・特別号(2) 免疫・炎症疾患のすべて	日本医師会	東京	2020	S347-S349
針谷正祥	7 ANCA関連血管炎	森脇孝 一成一成 小室宮地 良樹	診療ガイドライン2022 UP-T O-D A T E	株式会社メディカルレビュー株式会社	東京	2022	P.677~684

坂東政司	ANCA関連血管炎 における肺疾患	門田淳一, 弦 間昭彦, 西岡 安彦	呼吸器疾患最新の 治療2021-2022	南江堂	東京	2021	322-325
坂東政司	膠原病と間質性 肺疾患	藤本学	皮膚科ベストセレ クション 皮膚科 膠原病 皮疹から 全身を診る	中山書店	東京	2021	14-20
坂東政司	ANCA関連血管炎 における肺疾患	門田淳一, 弦 間昭彦, 西岡 安彦	呼吸器疾患最新の 治療2021-2022	南江堂	東京	2021	322-325
坂東政司	膠原病と間質性 肺疾患	藤本学	皮膚科ベストセレ クション 皮膚科 膠原病 皮疹から 全身を診る	中山書店	東京	2021	14-20
川上民裕	IgA血管炎(Henoc h-Schonlein紫 斑)	高橋健造、佐 伯秀久	皮膚疾患最新の治 療2021-2022	(株)南江堂	東京	2021	78-79
川上民裕	エリテマトーデ スにおけるエリ テマトーデスに おける血管炎 蕁麻疹様血管炎 も含めて	藤本学	皮膚科膠原病 皮 疹から全身を診る	中山書店	東京	2021	113-116
川上民裕	顕微鏡的多発血 管炎	佐藤伸一、藤 本学、門野岳 史、椛島健治	今日の皮膚疾患治 療指針	医学書院	東京	2022	531-534
川上民裕	好酸球性多発血 管炎性肉芽腫症	佐藤伸一、藤 本学、門野岳 史、椛島健治	今日の皮膚疾患治 療指針	医学書院	東京	2022	534-536
川上民裕	多発血管炎性肉 芽腫症 (Wegener 肉芽腫症)	佐藤伸一、藤 本学、門野岳 史、椛島健治	今日の皮膚疾患治 療指針	医学書院	東京	2022	536-538

高橋 啓	川崎病冠動脈の病理(急性期・遠隔期)	日本川崎病学会	川崎病学	診断と治療者	東京	2021	40-44
中岡 良和	大動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離、高安動脈炎)	矢崎義雄、小室一成・総編集	内科学(第12版)	朝倉書店	東京	2022	II-254-261
中岡 良和	高安動脈炎	日本食品免疫学会・編集	食品免疫学事典	朝倉書店	東京	2021	190-191
杉原 毅彦	巨細胞性動脈炎(I SBN 978-4-524-22785-3)	園生 雅弘	脳神経疾患最新の治療2021-2023	南江堂	東京	2021	
吉藤 元	大型血管炎(高安動脈炎・巨細胞性動脈炎)	福井 次矢, 高木 誠, 小室 一成	今日の治療指針(2021)	医学書院	東京	, 2021	pp898-9
長坂憲治	ANCA関連血管炎に対する生物学的製剤療法(リツキシマブ)	内科系学会社会保険連合	標準的医療説明	医学書院	東京	2021	230
坪井直毅	Chapter3 腎難病3)抗糸球体基底膜腎炎	白井丈一、斎藤知栄	腎臓病診療Q&A	東京医学社	東京	2021	202-204
樋口智昭, 川口鎮司	顕微鏡的多発血管炎に伴う肺血管炎	瓦谷秀治	日本臨牀 呼吸器症候群(第3版)	日本臨牀社	東京	2021年	408-412
川上民裕	ベーチェット病	葉山惟大	Monthly Book Dermatology.	全日本病院出版会	東京	2022	53-60
川上民裕	自己炎症性疾患としての壊疽性膿皮症	佐藤伸一	皮膚科	科学評論社	東京	2022	660-667
川上民裕	結節性多発動脈炎・皮膚動脈炎(皮膚型結節性多発動脈炎)	大槻マミ太郎	Visual Dermatology	学研メディカル秀潤社	東京	2023	162-164
川上民裕	血管炎とウイルス感染症	佐藤伸一	皮膚科	科学評論社	東京	2023	274-281
川上民裕	紫斑を生じる皮膚疾患	常深祐一郎	皮膚疾患診療実践ガイド第3版	文光堂	東京	2022	16-18

川上民裕	リベドを生じる皮膚疾患	常深祐一郎	皮膚疾患診療実践ガイド第3版	文光堂	東京	2022	33-34
川上民裕	IgA血管炎	常深祐一郎	皮膚疾患診療実践ガイド第3版	文光堂	東京	2022	367-371
川上民裕	慢性（特発性）色素性紫斑	常深祐一郎	皮膚疾患診療実践ガイド第3版	文光堂	東京	2022	367-368
川上民裕	血管炎	神人正寿	皮膚科診療秘伝の書	南江堂	東京	2022	49-55
川上民裕	結節性多発動脈炎	高橋健造	皮膚疾患最新の治療2023-2024		東京	2023	91
川上民裕	ベーチェット病 皮膚病変	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	16-22
宮崎龍彦	組織の取り扱いと固定方法の基礎 - 生命現象をミクロのレベルで可視化して捉える大切な入口 -	日本組織細胞化学会	組織細胞化学2022	学際企画	東京	2022	21-39
中岡 良和	大動脈疾患（大動脈瘤、大動脈解離、高安動脈炎）	矢崎義男・小室一成	内科学（第12版）	朝倉書店	東京	2022年	II-254-261
中岡 良和	高安動脈炎	伊藤浩・山下武志	循環器疾患最新の治療2022-2023	南江堂	東京	2022年	301-304
中岡 良和	生物学的製剤（IL-6阻害薬）	日本リウマチ財団/日本リウマチ学会教育研修委員会	リウマチ病学テキスト	南江堂	東京	2022年	542-544
中岡 良和	肺高血圧症	伊東史子・福原茂朋	血管・リンパ管の機能制御と疾患メカニズム	化学同人	京都	2022年	177-187
内田治仁	高安動脈炎	柏原直樹	腎臓症候群（第3版）III	日本臨床社		2022	248-253

廣村桂樹	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (Churg-Strauss 症候群)	柏原直樹	別冊日本臨牀 腎臓症候群 (第3版)	日本臨牀社	東京	2022	176-182
坂入 徹、 廣村桂樹	血管炎に伴う腎障害	柏原直樹	別冊日本臨牀 腎臓症候群 (第3版)	日本臨牀社	東京	2022	206-211

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sumi E, Asada R, Lu Y, Ito-Ihara T, Grimes KV.	A Qualitative Study on the Differences Between Trial Populations and the Approved Therapeutic Indications of Antineoplastic Agents by 3 Regulatory Agencies From 2010 to 2018.	Clin Ther.	42(2)	305-320.e0.	2020
Saida K, Kamei K, Hamada R, Yoshikawa T, Kano Y, Nagata H, Sato M, Ogura M, Harada R, Hataya H, Miyazaki O, Nosaka S, Ito S, Ishikura K.	A simple, refined approach to diagnosing renovascular hypertension in children: A 10-year study.	Pediatr Int.	62(8)	937-943	2020
Sugihara T, Hasegawa H, Uchida HA, Yoshifuji H, Watanabe Y, Amiya E, Maejima Y, Konishi M, Murakawa Y, Ogawa N, Furuta S, Kasumata Y, Komagata Y, Naniwa T, Okazaki T, Tanaka Y, Takeuchi T, Nakaoka Y, Arimura Y, Harigai M, Isobe M	Associated factors of poor treatment outcomes in patients with giant cell arteritis: clinical implication of large vessel lesions.	Arthritis Res Ther.	22(1)	72	2020

Miyamae T, Hanaya A, Kawamoto M, Tani Y, Kawaguchi Y, Yamanaka	H. Diagnostic Rate of Autoinflammatory Diseases Evaluated by Fever Patterns in Pediatric- and Adult-Onset Patients.	J Clin Rheumatol.	26(2)	60-62.	2020
Mutoh T, Shirai T, Ishii T et al	Identification of two major autoantigens negatively regulating endothelial activation in Takayasu arteritis	Nat Commun	11(1)	1253	2020
Ikeda, T., Kawakami, T., Arimura, Y., Ishiguro, N., Ishizu, A., Ito, F., Ito-Ihara, T., Okiyama, N., Ono, S., Suzuki, K., Sugawara, K., Seishima, M., Kodera, M., Tanaka, M., Halasegawa, M., Furukawa, F., Yamaguchi, Y., Yoshizaki, A., & Revised Committee for guidelines for the management of vasculitis, vascular disorders of the Japanese Dermatological Association.	Survey of Japanese dermatological vasculitis specialists on cases of cutaneous arteritis (cutaneous polyarteritis nodosa).	The Journal of dermatology,	47(5)	534-537.	2020
真鍋侑資, 中岡良和.	大型血管炎の内科的治療のポイント.	Heart View.	24(8)	748-755	2020
渡部芳子	【血管炎症候群を理解する】治す 大型血管炎の外科治療・血管内治療の現状と問題点	Heart View	24	756-761	2020
田村直人	【血管炎症候群を理解する】診る ANCA関連血管炎をいかに診断するか?	Heart View	24(8)	700-707	2020
岩崎沙理, 辻 隆裕, 石津明洋	【糸球体内皮細胞】解剖学的特徴と病理	腎と透析	89(3)	337-344	2020
梅田良祐, 北川章充, 坪井直毅	【腎炎診療UP TO DATE】全身性エリテマトーデス、強皮症に伴う腎障害 全身性エリテマトーデス、強皮症に伴う腎障害	日本内科学会雑誌	109(5)	896-902	2020
伊藤 秀一	【免疫・炎症疾患のすべて】免疫・炎症疾患各論/全身性疾患 川崎病	日本医師会雑誌	149 (特別2)	S197 - S199	2020

Oshima M, Fukuhara J, Noto T, Noguchi T, Murabayashi M, Ayusawa M, Morioka I	A Case of Kawasaki Disease Complicated With Cerebral Salt-Wasting Syndrome	Front Pediatr.	8	325	2020
Kawaguchi M, Nakayama M, Bando M, Hisata S, Mato N, Suzuki T, Takemura T, Hagiwara K	A case of lymphocytic interstitial pneumonia presenting with a ground glass nodule as an initial finding.	Respir Med Case Rep	31	101279	2020
Yoshifuji H, Kagebayashi S, Kinoshita H, Fujii T, Okano Y, Katsushima M, Mimori T.	A case of pulmonary arterial hypertension complicated by anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis and systemic sclerosis.	Immunol Med	44(4)	263-269	2021
Abe Y, Ayusawa M, Kawamura K, Yonezawa R, Kato M, Komori A, Kohira R, Morioka I	A Combination Therapy for Kawasaki Disease with Severe Complications: a Case Report	Open Med (Warsaw)	15	8-13	2019
Takahashi-Kobayashi M, Usui J, Kaneko S, Sugiyama H, Nishitani K, Wada T, Muehleisen E, Arimura Y, Morikawa H, Matsuo S, Yamagata K.	Age-dependent survival in rapidly progressive glomerulonephritis: A nationwide questionnaire survey from children to the elderly.	PLoS One	15(7)	e0236017	2020
駒形嘉紀	ANCA関連血管炎	Medical Practice	38	358-365	2021
魚住 諒, 益田紗季子, 石津明洋	ANCA関連血管炎における好中球細胞外トラップ	炎症と免疫	28(4)	279-283	2020
駒形嘉紀	ANCA関連血管炎の最新治療とその使い分け	炎症と免疫	29	37-40	2021
長坂 憲治	ANCA関連血管炎をどう治療するか?	Heart View	24	771-775	2020
Miyamae T, Akatsu M, Ichikawa N, Taniguchi A, Harigai M.	Arthritis mutilans in juvenile idiopathic arthritis.	Lancet Rheumatol	3(2)	E160.	2021

<p>Sugihara T, Hasegawa H, Uchida HA, Yoshifuji H, Watanabe Y, Amiya E, Maejima Y, Konishi M, Murakawa Y, Ogasawa N, Furuta S, Katsumata Y, Komagata Y, Naniwa T, Okazaki T, Tanaka Y, Takeuchi T, Nakagawa Y, Arimura Y, Horigai M, Isobe M; Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS).</p>	<p>Associated factors of poor treatment outcomes in patients with giant cell arteritis: clinical implication of large vessel lesions</p>	<p>Arthritis Research & Therapy</p>	<p>22(1)</p>	<p>72</p>	<p>2020</p>
<p>Johnson TA, Mashimo Y, Wu JY, Yoon D, Hata A, Kubo M, Takahashi A, Tsunoda T, Ozaki K, Tanaka T, Ito K, Suzuki H, Hamada H, Kobayashi T, Hara T, Chen CH, Lee YC, Liu YM, Chang LC, Chang CP, Hong YM, Jang GY, Yun SW, Yu JJ, Lee KY, Kim JJ, Park T; Korean Kawasaki Disease Genetics Consortium, Taiwan Kawasaki Disease Genetics Consortium, Taiwan Pediatric ID Alliance, Japan Kawasaki Disease Genome Consortium, Lee JK, Chen YT, Onouchi Y.</p>	<p>Association of an IGHV3-66 gene variant with Kawasaki disease.</p>	<p>J Hum Gene</p>	<p>66(5)</p>	<p>475-489</p>	<p>2020</p>
<p>Nakajima S, Chiba A, Makiyama A, Hayashi E, Murayama G, Yamaji K, Kobayashi S, Tamura N, Takasaki Y, Miyake S.</p>	<p>Association of mucosal-associated invariant T cells with different disease phases of polymyalgia rheumatica.</p>	<p>Rheumatology (Oxford)</p>	<p>59(10)</p>	<p>2939-2946</p>	<p>2020</p>

Kawasaki A, Namba N, Sada KE, Hirano F, Kobayashi S, Nagasaka K, Sugihara T, Ono N, Fujimoto T, Kusaoi M, Tamura N, Yamagata K, Sumida T, Hashimoto H, Ozaki S, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N.	Association of TERT and DSP variants with microscopic polyangiitis and myeloperoxidase-ANCA positive vasculitis in a Japanese population: a genetic association study.	Arthritis Res Ther	22(1)	246	2020
Abe Y, Saeki K, Dobashi H, Kawakami T, Hayashi T, Kobayashi M, Kaname S, Harigai M, Tamura N.	Clinical characteristics and social productivity levels of patients with malignant rheumatoid arthritis based on a nationwide clinical database in Japan: annual survey from 2003 to 2013.	Mod Rheumatol.	31(3)	621-628	2021
Nakaoka Y*, Yamashita K, Yamakido S.	Comment on: Long-term efficacy and safety of tocilizumab in refractory Takayasu arteritis: final results of the randomized controlled phase 3 TAKT study: reply.	Rheumatology (Oxford).	59(9)	e48-e49.	2020
高橋 啓、大原関利章、横内 幸	COVID-19と川崎病 -SARS-CoV2関連小児多臓器炎症症候群と川崎病-	呼吸器内科	39	66-71	2021
Watanabe Y, Miyata T, Shigematsu K, Tanemoto K, Nakao Y, Harigai M; Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS).	Current Trends in Epidemiology and Clinical Features of Thromboangiitis Obliterans in Japan - A Nationwide Survey Using the Medical Support System Database.	Circ J.	84(10)	1786-1796	2020
Nojima I, Eikawa S, Tomonobu N, Hada Y, Kajitani N, Teshigawara S, Miyamoto S, Tone A, Uchida HA, Nakatsuka A, Eguchi J, Shikata K, Udono H, Wada J.	Dysfunction of CD8 + PD-1 + T cells in type 2 diabetes caused by the impairment of metabolism-immune axis	Sci Rep	10(1)	14928	2020

Akagi T, Mukai T, Mito T, Kawahara K, Tsuji S, Fujita S, Uchida HA, Morita Y.	Effect of Angiotensin II on Bone Erosion and Systemic Bone Loss in Mice with Tumor Necrosis Factor-Mediated Arthritis	Int J Mol Sci.	21(11)	4145	2020
Abe Y, Harada M, Tada K, Yamaji K, Tamura N.	Elevated cerebrospinal fluid levels of total protein in patients with secondary central nervous system vasculitis and giant cell arteritis.	Modern Rheumatology	30(6)	1033-1038	2020
Hayashida M, Miyoshi J, Mitsui T, Miura M, Saito D, Sakuraba A, Kawashima S, Ikegaya N, Fukuoka K, Karube M, Komagata Y, Kaname S, Okada AA, Fujimori S, Matsuura M, Hisamatsu T.	Elevated fecal calprotectin and lactoferrin are associated with small intestinal lesions in patients with Behçet disease.	J Gastroenterol Hepatol.	35(8)	1340-1346	2020
Watanabe H, Sada KE, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Takasaki Y, Fujimoto S, Atsumi T, Yamagata K, Homma S, Arimura Y, Makino H; Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome (JPVAS); Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan.	Exploratory classification of clinical phenotypes in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis using cluster analysis.	Sci Rep	11(1)	5223	2021
Ayako Miyamoto, Takahisa Kawakami, Megumi Kakinuma, Ryosuke Sato, Kazuhito Fukuoka, Miho Karube, Yoshinori Komagata, Shinya Kaname	Extensive bilateral renal metastases of non-small cell lung carcinoma caused acute kidney injury resulting in end-stage renal disease.	CEN Case Rep.	10(2)	194-198	2020
Shirai T, Shirota Y, Fujii H, Ishii T, Harigae H.	Four distinct clinical phenotypes of vasculitis affecting medium-sized arteries.	Scand J Rheumatol.	48(4)	308	2019
Iwata Y, Kitajima S, Yamahana J, Shimomura S, Yoneda	Higher serum levels of autotaxin and phosphatidylserine-specific phospholipase A 1 in	Int J Rheum Dis	24(2)	231-239	2020

Kobayashi M, Matsumoto Y, Ohya M, Harada K, Kanno H	Histological and immunohistochemical evaluation of infiltrating inflammatory cells in Kawasaki disease arteritis lesions.	Appl. Immunohistochem. Mol. Morphol.	29(1)	62-67	2021
川村美保, 水谷陽子, 松山かなこ, 周円, 宮崎龍彦, 清島真理子	IgG/IgM血管炎およびIgA血管炎の臨床的組織学的比較検討	日本皮膚科学会雑誌	130 (5)	1222	2020
Nakazawa D, Ishizuka A.	Immunothrombosis in Severe COVID-19.	EBioMedicine	59	102942	2020
Uno K, Muso E, Itoharu T, Endo T, Yasuda Y, Yagi K, Suzuki K.	Impaired HVJ-stimulated Interferon producing capacity in MPO-ANCA-associated vasculitis with rapidly progressive glomerulonephritis lead to susceptibility to infection.	Cytokine.	136	155221	2020
Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama J, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y.	Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS).	Clin Exp Nephrol	24(6)	526-540	2020

Hada Y, Uchida H, A, Mukai T, Kojima F, Yoshida M, Takeuchi H, Kakio Y, Otaka N, Morita Y, Wada J.	Inhibition of interleukin-6 signaling attenuates aortitis, left ventricular hypertrophy and arthritis in interleukin-1 receptor antagonist deficient mice	Clin Sci (Lond)	134(20)	2771-2787	2020
Moiseev S, Bossuyt X, Arimura Y, Blockmans D, Csernok E, Damoiseaux J, Emami G, Flores-Suárez LF, Hellmich B, Jayne D, Jennette JC, Little MA, Mohammad AJ, Moosig F, Novikov P, Pagnoux C, Radice A, Sada KE, Segelmark M, Shoenfeld Y, Sinico RA, Specks U, Terrier B, Tzioufas AG, Vaglio A, Zhao MH, Cohen Tervaert JW; European EGPA Study Group.	International Consensus on ANCA Testing in Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis.	Am J Respir Crit Care Med	Online ahead of print.	doi: 10.1164/rccm.202005-1628SO	2020
坂東政司	IPFの診断・治療ガイドライン：国際比較を踏まえて	呼吸器内科	38	547-553	2020
Takafumi Tomizuka, Hirotohi Kikuchi, Kurumi Asako, Daisuke Tsukui, Yoshitaka Kimura, Yoshinao Kikuchi, Yuko Sasajima, Hajime Kono	Is Kimura's disease associated with juvenile temporal arteritis? A case report and literature review of all juvenile temporal arteritis cases.	Mod Rheumatol Case Rep	5(1)	123-129	2021
Yamauchi H, Bando M, Shinozaki-Ushiku A, Ogura T, Takemura T, Sato M, Hagiwara K	Is unclassifiable idiopathic interstitial pneumonia a result of idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis?	Respir Investig	58	502-505	2020
Fukazawa R, Kobayashi J, Ayusawa M, Hamada H, Miura M, Mitani Y, Tsuda E, Nakajima H, Matsura H, Ikeda K, Nishigaki K, Suzuki H, Takahashi K, 他11名	Japanese Circulation Society Joint Working Group: JCS/JSCS 2020 Guideline on Diagnosis and Management of Cardiovascular Sequelae in Kawasaki Disease.	Circ J	84	1348 -1407	2020

<p>Isobe M, Amano K, Arimura Y, Ishizu A, Ito S, Kaname S, Kobayashi S, Komagata Y, Komuro I, Komori K, Takahashi K, Tanemoto K, Hasegawa H, Harigai M, Fujimoto S, Miyazaki T, Miyata T, Yamada H, Yoshida A, Wada T, Inoue Y, Uchida HA, Ota H, Okazaki T, Onimaru M, Kawakami T, Kinouchi R, Kurata A, Kosuge H, Sada KE, Shigematsu K, Suematsu E, Sueyoshi E, Sugihara T, Sugiyama H, Takeno M, Tamura N, Tsutsumino M, Dobashi H, Nakaoka Y, Nagasaka K, Maejima Y, Yoshifuji H, Watanabe Y, Ozaki S, Kimura T, Shigematsu H, Yamauchi-Takahara K, Murohara T, Momomura S I; JCS Joint Working Group.</p>	<p>JCS 2017 guideline on management of vasculitis syndrome-digest version.</p>	<p>Circulation Journal</p>	<p>84(2)</p>	<p>299-359</p>	<p>2020</p>
<p>Nakaoka Y*, Isobe M, Tanaka Y, Ishii T, Ooka S, Niino H, Tamura N, Banno S, Yoshifuji H, Sakata Y, Kawakami A, Atsumi T, Furuta S, Kohsaka H, Suzuki K, Hara R, Maejima Y, Tsukamoto H, Takasaki Y, Yamashita K, Okada N, Yamakido S, Takei S, Yokota S, and Nishimoto N.</p>	<p>Long-term efficacy and safety of tocilizumab in refractory Takayasu arteritis: final results of the randomised controlled phase 3 TAKT study.</p>	<p>Rheumatology (Oxford).</p>	<p>59(9)</p>	<p>2427-2434.</p>	<p>2020</p>
<p>Nagasawa T, Miura K, Kaneko N, Yabuuchi T, Ishizuka K, Chikamoto H, Akioka Y, Hisano M, Hattori M:</p>	<p>Long-term outcome of renal transplantation in childhood-onset anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.</p>	<p>Pediatric Transplantation</p>	<p>24</p>	<p>e13656</p>	<p>2020</p>

Gon Y, Yoshifuji H, Nakajima T, Murakami K, Nakashima R, Ohmura K, Mimori T, Terao C.	Long-term outcomes of refractory Takayasu arteritis patients treated with biologics including ustekinumab.	Mod Rheumatol	31(3)	678-683	2020
Kiyotaka Nagahama, M.D., Ph.D.; Aya Isomura, M.D., Ph.D.; Hiroaki Shimoyamada, M.D., Ph.D.; Shintaro Masuko, M.D.; Nagahama K, Isomura A, Shimoyamada H, Masuko S, Shimoda S, Karube M, Komagata Y, Kaname S, Shibahara J.	Membranous nephropathy with masked polyclonal IgG deposits associated with primary Sjogren's Syndrome.	CEN Case Rep.	10(1)	53-58	2020
Shirai T, Komatsu H, Sato H, Fujii H, Ishii T, Harigae H.	Migratory Aortitis Associated with Granulocyte-colony-stimulating Factor.	Intern Med	59(12)	1559	2020
Shibata Y, Fukuoka K, Yokota R, Lee H, Sayo H, Ikegaya N, Mori K, Yamamoto J, Isomura A, Nagahama K, Shimoyamada H, Kawakami T, Komagata Y, Kaname S.	Nephrotic syndrome due to minimal change disease superimposed to anti-glomerular basement membrane antibody positive glomerulonephritis: a case report.	BMC Nephrol.	21	283	2020
宮崎龍彦, 小林一博, 新居俊典, 酒々井夏子, 石津明洋, 武曾恵理, 小川弥生, 中沢大悟, 黒川真奈絵.	OMAAVの上気道生検組織の病理学的特徴.	第25回日本血管病理研究会	61(1)	1-2	2021
Daisuke Tsukui, Yoshitaka Kimura, Hajime Kono	Pathogenesis and pathology of anti-neutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)-associated vasculitis	Journal of Translational Autoimmunity	vol4		2021
Arita Y, Nakaoka Y, Eda Y, Kitabayashi K, Hasegawa S.	Perioperative Management of Takayasu Arteritis for Cardiac Surgery in a Patient Treated With Tocilizumab.	J Am Coll Cardiol Case Rep.	2 (15)	2363-2367	2020

Walsh M, Merkel P A, Peh CA, Szpirt WM, Puéchal X, Fujimoto S, Hawley C M, Khalidi N, Floßmann O, Wald R, Girard LP, Levin A, Gregorini G, Harper L, Clark WF, Pagnoux C, Specks U, Smyth L, Tesar V, Itano-Ihara T, de Zoysa JR, Szczeklik W, Flores-Suárez LF, Carrette S, Guillevin L, Pusey CD, Casian AL, Brezina B, Mazzei A, McAlear CA, Broadhurst E, Reidlinger D, Mehta S, Ives N, Jayne DRW; PEXIVAS Investigators.	Plasma Exchange and Glucocorticoids in Severe ANCA-Associated Vasculitis.	N Engl J Med.	382	622-631	2020
Abe Y, Yamaji K, Endo Y, Kusaoi M, Nakano S, Yang KS, Tada K, Tsuda H, Tamura N.	Plasma exchange therapy to reduce mortality in Japanese patients with diffuse alveolar hemorrhage and microscopic polyangiitis.	Therapeutic apheresis and dialysis	24(2)	208-214	2020
Keisuke Ono, Mitsumasa Kishimoto, Teppei Shimasaki, Hiroko Uchida, Daisuke Kurai, Gautam A Deshpande, Yoshinori Komagata, Shinya Kaname	Reactive arthritis after COVID-19 infection.	RMD Open.	6	e001350	2020
Kitazawa T, Yoshino Y, Asako K, Kikuchi H, Kono H, Ota Y.	Recent increase in non-tuberculous mycobacterial infection in patients with connective tissue diseases in Japan	J Infect Chemother.	26(9)	941-945	2020
Mutoh T, Ishii T et al	Refractory Takayasu arteritis successfully treated with rituximab: case-based review	Rheumatol Int	39(11)	1989	2019

<p>Kobayashi T, Ayusawa M, Suzuki H, Abe J, Ito S, Kato T, Kamada M, Shiono J, Suda K, Tsuchiya K, Nakamura T, Nakamura Y, Nomura Y, Hamada H, Fukazawa R, Furuno K, Matsuura H, Matsubara T, Miura M, Takahashi K :</p>	<p>Revision of diagnostic guidelines for Kawasaki disease (6th revised edition).</p>	<p>Pediatr Int</p>	<p>60</p>	<p>1135 -1138</p>	<p>2020</p>
<p>Smith RM, Jones RB, Specks U, Bond S, Nodale M, Aljaysoufi R, Andrews J, Bruchfeld A, Camilleri B, Carette S, Cheung CK, Derebail V, Doulton T, Forbes L, Fujimoto S, Furuta S, Gewurz-Singer O, Harper L, Ito-Ihara T, Khalid N, Klocke R, Koenigs C, Komagata Y, Langford C, Lanyon P, Luqmani RA, Makino H, McAlear C, Monach P, Moreland LW, Mynard K, Nachman P, Pagnoux C, Pearce F, Peh CA, Pusey C, Ranganathan D, Rhee RL, Spiera R, Sreih AG, Tesar V, Walters G, Weisman MH, Wroe C, Merkel P, Jayne D; RITAZAREM coinvestigators; RITAZAREM coinvestigators.Smith RM, et al.</p>	<p>Rituximab as therapy to induce remission after relapse in ANCA-associated vasculitis.</p>	<p>Ann Rheum Dis</p>	<p>79</p>	<p>1243-1249</p>	<p>2020</p>
<p>Takeyama Y</p>	<p>Rituximab maintenance therapy for patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in Japan.</p>	<p>Mod Rheumatol</p>	<p>31(2)</p>	<p>408-416</p>	<p>2021</p>
<p>Yoshifuji H, Chikashi T.</p>	<p>Roles of cytotoxic lymphocytes and MIC/LILR families in pathophysiology of Takayasu arteritis.</p>	<p>Inflamm Regener</p>	<p>40(9)</p>	<p>epub, doi: 10.1186/s41232-020-00119-6</p>	<p>2020</p>

Kimura Y, Yanagida T, Onda A, Tsukui D, Hosoyamada M, Kono H.	Soluble Uric Acid Promotes Atherosclerosis via AMPK (AMP-Activated Protein Kinase)-Mediated Inflammation	Arterioscler Thromb Vasc Biol	40(3)	570-582	2020
Ota H, Sato C, Igarashi A, Inoue S, Matsuda S, Ishizu A, Watanabe M.	Spontaneously regressed granulomatosis with polyangiitis: a case report.	Respiratory Investigation	9(3)	372-376	2021
Mikiya Kato, Risa Wakiya, Tomohiro Kameda, Kousuke Inoue, Tadashi Sofue, Yusuke Ushio, Koichi Sugihara, Shusaku Nakashima, Hiroaki Shimada, Mahmoud Fahmy Mansour, Norimitsu Kawadawaki, Hiroaki Dobashi.	The development of rapidly progressive glomerulonephritis is associated with both anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis and anti-glomerular basement membrane nephritis in the course of nontuberculous mycobacterium infection: a case report.	BMC Rheumatology	4(1)	68	2020
Tani Y, Kishi T, Miyamae T, Kawamoto M, Kawaguchi Y, Taniguchi A, Yamazaki H.	The evaluation of gene polymorphisms associated with autoinflammatory syndrome in patients with palindromic rheumatism complicated by intermittent hydrarthrosis.	Clin Rheumatol	Mar;39(3)	841-845.	2020
Kobayashi M, Matsumoto Y, Satomi H, Tateishi A, Ohya M, Ito I, Kanno H	The ratio of CD163-positive macrophages to Iba1-positive macrophages is low in the intima in the early stage of cutaneous arteritis.	Immunologic Research	68(3)	152-160	2020
Saito S, Okuyama A, Okada Y, Shibata A, Sakai R, Kuratsawa T, Kondo T, Takei H, Amano K	Tocilizumab monotherapy for large vessel vasculitis: Results of 104-week treatment of a prospective, single-center, open study	Rheumatology	59(7)	1617-1621	2020

Sada KE, Ohashi K, Asano Y, Hayashi K, Morishita M, Watanabe H, Matsumoto Y, Fujimoto S, Takasaki Y, Yamagata K, Banno S, Dobashi H, Amano K, Harigai M, Arimura Y, Makino H; Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPV-AS) and the Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan.	Treatment-related damage in elderly-onset ANCA-associated vasculitis: safety outcome analysis of two nationwide prospective cohort studies.	Arthritis Res Ther.	22(1)	236	2020
Yusuke Ushio , Risa Wakiya , Mikiya Kato , Tomohiro Kamada , Shusaku Nakashima , Hiromi Shimada , Mai Mahmud Fahmy Mansour , Koichi Sugihara , Takenori Miyashita , Norimitsu Kadowaki , Hiroaki Dobashi .	Two cases of refractory eosinophilic granulomatosis with polyangiitis wherein mepolizumab was effective against pulmonary and ear lesions.	Modern Rheumatology Case Reports.	18	1月10日	2020
Kikuchi R, Tsuboi N, Sada KE, Nakatani M, Yokoe Y, Suzuki A, Maruyama S, Murohara T, Matsushita T, and Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan; Amano K, Atsumi T, Takasaki Y, Ito S, Hasegawa H, Dobashi H, Ito T, Makino H, Matsuo S	Vascular endothelial growth factor (VEGF)-A and VEGF-A165b are associated with time to remission of granulomatosis with polyangiitis in a nationwide Japanese prospective cohort study	Ann Clin Biochem	58(2)	86 - 94	2021
石井智徳	大型血管炎に対するトシリズマブ療法	リウマチ科	61(4)	331	2019
坂東政司	間質性肺炎の包括的管理 薬物療法	日呼吸ケアリハ会誌	29	38-41	2020

大西 康博、内田 治 仁	巨細胞性動脈炎のサブセット- 国際観察コホートからのデータ	リウマチ科	第65巻 第1号	96-100	2021
藤井隆夫	結節性多発動脈炎(PAN)	日本医事新報	5014	41	
中岡良和.	血管炎とサイトカインストーム の関連性.	実験医学	39(4)	546-551	2021
藤井隆夫	顕微鏡的多発血管炎とMPO-A NCA関連間質性肺炎	リウマチ科	65	61-66	
藤井隆夫	抗好中球細胞質抗体(ANCA)	内科	125	866	
中岡良和.	高安動脈炎・巨細胞性動脈炎・バ ージャー病.	生体の科学.	71(5)	480-481	2020
中岡良和.	高安動脈炎の病態と新規治療戦 略.	循環器病研究の 進歩.	60	82-90	2020
渡部芳子	指定難病最前線 高安動脈炎	新薬と臨床	70	336-339	2021
神山 裕二, 西村 謙 一, 大西 愛, 服部 成 良, 村瀬 絢子, 原 良 紀, 伊藤 秀一	消化器症状が長期に持続した川 崎病ショック症候群.	横浜医学	71(2)	77-82	2020
中岡良和.	心筋炎.	日本医師会雑誌.	149 (特 別号2)	253-256	2020
厚生労働省 診療の手 引き検討委員会 加藤 康幸、足立拓也、鮎沢 衛、氏家無限、大曲貴 夫、川名明彦、忽那賢 志、小谷 透、西條政幸、 徳田浩一、橋本 修、馳 亮太、藤田次郎、藤 野裕士、迎 寛、倭 正 也、横山彰仁、日本小 児科学会予防接種・感 染症対策委員会、勝田 友博、菅 秀、津川 毅	新型コロナウイルスCOVID-19 診療の手引き第3版				2020.9
伊藤 秀一	新型コロナウイルス感染症は川 崎病をひき起こすのか?-小児多 臓器系炎症症候群と川崎病.	循環器内科	89(2)	202-211	2021,
伊藤 秀一	川崎病の今 急性期の治療 血 漿交換	小児内科	53(1)	113-118.	2021
福田 清香, 今野 裕 章, 松本 峻, 灘 大志, 岩本 眞理, 伊藤 秀 一.	川崎病診断の手引き改訂(第6版) が診断に及ぼす影響.	日本小児科学会雑 誌	124(10)	1484-1489.	2020
中岡良和.	大型血管炎の診断と治療.	日本内科学会雑 誌.	109 (9)	1828-1835,	2020

内田 治仁	特集 血管炎症候群を理解する 診る2大型血管炎をいかに診 断するか?	Heart View	第24巻 第8号	687-692	2020
三浦 大, 鮎澤 衛, 伊 藤 秀一, 池田 俊也, 金井 貴志, 小林 徹, 鈴木 啓之, 濱田 洋通, 深澤 隆治, 山村 健一 郎, 宮田 功一, 横山 詩 子, 市田 露子, 寺井 勝, 三谷 義英。	日本小児循環器学会川崎病急性 期治療のガイドライン	日小循誌	36(S1)	S1.1-S1.29	2020
駒形嘉紀	補体の代替経路とANCA関連血 管炎	リウマチ科	64	232-238	2020
Sugihara T, Nakaok a Y, Uchida HA, Yo shifuji H, Maejima Y, Watanabe Y, Ami iya E, Tanemoto K, Miyata T, Umezawa N, Manabe Y, Ishi zaki J, Shirai T, Na gafuchi H, Hasegaw a H, Miyamae T, Ni ihiro H, Ito S, Ishii T, Isobe M, Harigai M.	Establishing Clinical Remissi on Criteria and the Framew ork of a Treat-To-Target Alg orithm for Takayasu arteriti s: Results of a Delphi Exerc ise Carried out by an Expert Panel of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welf are for intractable vasculitis.	Mod Rheumatol.	32(5)	930-937	2022
Abe Y, Saeki K, Do bashi H, Kawakami T, Hayashi T, Koba yashi M, Kaname S, Harigai M, Tamura N	Clinical characteristics and social productivity levels of p atients with malignant rheu matoid arthritis based on a nationwide clinical database in Japan: annual survey fro m 2003 to 2013.	Modern Rheuma tology	31(3)	621-628	2021
Nagasaka K, Kana me S, Amano K, Ka to M, Katsumata Y, Komagata Y, Sada KE, Tanaka E, Tam ura N, Dobashi H, Nanki T, Harabuchi Y, Bando M, Hom ma S, Wada T, Har igai M	Nation-wide survey of the tr eatment trend of microscopic polyangiitis and granulomat osis with polyangiitis in Jap an using the Japanese Minis try of Health, Labour and W elfare Database	Mod Rheumatol		DOI: 10.109 3/mr/roab08 8	2021
Fujii T, Atsumi T, Okamoto N, Takaha shi N, Tamura N, Nakajima A, Nakaji ma A, Matsuno H, Mukai I, Ishida A, Aizawa K, Kuwana M, Takagi M, Take uchi T	Post-marketing surveillance of mepolizumab use in patie nts with eosinophilic granulo matosis with polyangiitis in Japan: Interim analysis.	Therapeutic Res earch	42(6)	403-422	2021

安倍能之, 田村直人	【血管炎症候群のすべて】多様な血管を首座とする血管炎 悪性関節リウマチ	臨床放射線	66(10)	1199-1208	2021
田村直人	リウマチ性疾患の最新の患者評価と治療戦略	日本内科学会雑誌	110(9)	1958-1964	2021
Shunsuke Furuta, Daiki Nakagomi, Yoshihisa Kobayashi, Masaki Hiraguri, Takao Sugiyama, Koichi Amano, Takeshi Umibe, Hajime Kono, Kazuhiro Kurasawa, Yasuhiko Kita, Ryutaro Matsumura, Yuko Kaneko, Keita Ninagawa, Keijunromura, Shin-Ichiro Kagami, Yosuke Inaba, Hideki Hanaoka, Kei Ikeda, Hiroshi Nakajima	Effect of Reduced-Dose vs High-Dose Glucocorticoids Added to Rituximab on Remission Induction in ANCA-Associated Vasculitis: A Randomized Clinical Trial.	JAMA	325	2178-2187	2021
Daisuke Tsukui , Hajime Kono	Multiple Renal Microaneurysms in Polyarteritis Nodosa.	Mayo Clinic proceedings	96	2277-2278	2021
Daisuke Tsukui, Yoshitaka Kimura, Hajime Kono	Pathogenesis and pathology of anti-neutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)-associated vasculitis.	Journal of translational autoimmunity	4	10094	2021
Hideyo Tsutsui, Toshihiro Tono, Hirotohi Kikuchi, Tetsuji Sawada, Mitsuhiro Takeno, Hiroko Nagafuchi, Yohei Kirino, Yoshiya Tanaka, Kunihiro Yamaoka, Shunsei Hirohata	Validity and reliability of a checklist for patients with Behçet's disease based on the International Classification of Functioning, Disability and Health.	Rheumatology international	42	159-165	2021
河野 肇	補体を標的とした治療の進歩	炎症と免疫	11	28	2021
津久井 大輔、河野肇	ANCA関連血管炎における補体を標的とした治療	炎症と免疫	11	40-44	2021
河野 肇	重症ANCA血管炎における血漿交換療法	日本アファレシス学会雑誌		66	2021

Kuroda Y, Tanaka T, Miyagawa T, Hamada H, Abe H, Ito-Ihara T, Asada R, Fujimoto Y, Takahashi D, Tetsunaga T, Kaneuji A, Takagi M, Inaba Y, Morita S, Sugano N, Tanaka S, Matsuda S, Akiyama H; TRION trial collaborators:.	Recombinant human FGF-2 for the treatment of early-stage osteonecrosis of the femoral head: TRION, a single-arm, multicenter, Phase II trial.	Regen Med.	16	535-548	2021
Noda K, Kawai K, Matsuura Y, Ito-Ihara T, Amino Y, Ushimaru M, Kinoshita A, Tada H, Abe H, Morita S, Shimizu A, Tsuge I, Sakamoto M, Morimoto N.	Safety of Silk-elastin Sponges in Patients with Chronic Skin Ulcers: A Phase I/II, Single-center, Open-label, Single-arm Clinical Trial.	Plast Reconstr Surg Glob Open	9	e3556	2021
猪原 登志子	【腎疾患治療薬update】(第5章)期待される薬剤 ANCA関連腎炎 補体C5a受容体阻害薬.	腎と透析	91	733-738	2021
Keino H, Watanabe T, Nakayama M, Komagata Y, Fukuoka K, Okada AA.	Long-term efficacy of early infliximab-induced remission for refractory uveoretinitis associated with Behçet's disease.	Br J Ophthalmol	105	1525	2021
駒形嘉紀	ANCA関連血管炎.	東京都医師会雑誌	74	1022	2021
駒形嘉紀	ANCA関連血管炎の分類基準・診断基準	リウマチ科	67	324	2022
Kaneko S, Yamagata K, Usui J, Tsuboi N, Sugiyama H, Maruyama S, Narita I	Epidemiology and temporal changes in the prognosis of rapidly progressive glomerulonephritis in Japan: a nationwide 1989-2015 survey.	Clin Exp Nephrol.	26(3)	234-246	2022
Hisata S, Bando M, Homma S, Kataoka K, Ogura T, Izumi S, Sakamoto S, Watanabe K, Saito Y, Shimizu Y, Kato M, Nishioka Y, Hara H, Waseda Y, Tanino Y, Yatera K, Hashimoto S, Mukae H, Inase N; Diffuse Lung Diseases Research Group of the Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.	Safety and tolerability of combination therapy with pirfenidone and nintedanib for idiopathic pulmonary fibrosis: A multicenter retrospective observational study in Japan.	Respir Investig	59(6)	819-826	2021

藤井隆夫	顕微鏡的多発血管炎とMPO-ANCA関連間質性肺炎	リウマチ科	65	61-66	2021年
藏本伸生、藤井隆夫	結節性多発動脈炎	診断と治療	109	1397-1401	2021年
Ota H, Sato C, Igarashi A, Inoue S, Masuda S, Ishizu A, Watanabe M.	Spontaneously regressed granulomatosis with polyangiitis: a case report.	Respiratory Investigation	59(3)	372-376	2021
Kawakami T, Tamura Y, Dong Y, Yoshinari M, Nishibata Y, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	Anti-phosphatidylserine/prothrombin complex antibodies in patients with cutaneous vasculitis: possible involvement in the pathogenesis.	J Dermatol	48(5)	703-706	2021
Nishibata Y, Matsuzawa S, Satomura Y, Ohtsuka T, Kuhara M, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	Neutrophil fixation protocols suitable for substrates to detect anti-neutrophil cytoplasmic antibodies by indirect immunofluorescence.	Pathol Res Pract	228	153661	2021
Iwasaki S, Watanabe T, Tsuji T, Otsuka T, Makita K, Fukasawa Y, Ishizu A.	Infliximab-induced granulomatous vasculitis with amyloid deposition in the tongue of a patient with Behçet's disease.	J Clin Rheumatol	27(8S)	S710-S712	2021
Takeuchi S, Kawakami T, Okano T, Shida H, Nakazawa D, Tomaru U, Ishizu A, Kadono T.	Elevated myeloperoxidase-DNA complex levels in sera of patients with IgA vasculitis.	Pathobiology	89(1)	23-28	2022
Masuda S, Kato K, Ishibashi M, Nishibata Y, Sugimoto A, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Tsujino I, Ishizu A.	Phorbol 12-myristate 13-acetate stimulation under hypoxia induces nuclear swelling with DNA outflow but not extracellular trap formation of neutrophils.	Exp Mol Pathol	125	104754	2022
Nishibata Y, Nonokawa M, Tamura Y, Higashi R, Suzuki K, Hayashi H, Masuda S, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Ishizu A.	Possible implication of intermolecular epitope spreading in the production of anti-glomerular basement membrane antibody in anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Clin Exp Rheumatol	40(4)	691-704	2022
工藤孝司, 中沢大悟, 石津明洋.	好中球細胞外トラップと腎疾患.	日本腎臓学会会誌	63(3)	265-273	2021
石津明洋.	抗好中球細胞質抗体関連血管炎の病態形成メカニズム.	アレルギー	70(5)	372-375	2021

Takahashi K, Ikeda T, Yokoyama K, Kawakami T.	Cutaneous ulcer resembling pyoderma gangrenosum in a patient with antiphospholipid syndrome.	Journal of Cutaneous Immunology and Allergy	4	17-18	2021
Ikeda T, Komatsu T, Yokoyama K, Takahashi K, Kawakami T.	Early add-on administration of mepolizumab and intravenous immunoglobulin effective in treating eosinophilic granulomatosis with polyangiitis.	Journal of Dermatology	48	529-532	2021
Kawakami T, Okiyama N, Koderama M, Shibushima M, Yamaguchi Y.	The relationship between anti-phosphatidylserine/prothrombin complex IgM antibodies and cutaneous ulcers in patients with cutaneous vasculitis.	Journal of Dermatology	48	1457-1458	2021
菅野祐幸, 小林実喜子	大型血管の血管炎	病理と臨床	39 (11)	1106-1109	2021
Sato W, Yokouchi Y, Oharaseki T, Asakawa N, Takahashi K	The pathology of Kawasaki disease aortitis: a study of 37 cases.	Cardiovasc Pathol	51	107303	2021
横内幸, 牧野治樹, 高橋啓	【川崎病の病理アップデート】心血管病変を中心に	医学と薬学	78	931-937	2021
大原関利章, 浅川奈々絵, 高橋啓	【川崎病の病理アップデート】川崎病血管炎の動物モデル	医学と薬学	78	925-930	2021
高橋 啓	Clinically isolated aortitis	病理と臨床	39	1048-1050	2021
高橋啓, 横内幸, 大原関利章	川崎病・診断と治療、新型コロナウイルス感染症との関連について	診断と治療	109	1403-1408	2021
Nakaoka Y, Yanagawa M, Hata A, Yamashita K, Okada N, Yamakido S, Hayashi H, Jayne D	Vascular imaging of patients with refractory Takayasu arteritis treated with tocilizumab: post hoc analysis of a randomized controlled trial.	Rheumatology (Oxford)	Online ahead of print	"keab684(P MID34528074)"	2021
中岡良和	大型血管炎による心血管系の臓器障害	診断と治療	109 (10)	45-49	2021
Ishii K, Shirai T, Kakuta Y, Machiyama T, Sato H, Ishii T, Harigae H, Fujii H.	Development of severe colitis in Takayasu arteritis treated with tocilizumab.	Clin Rheumatol	41(6)	1911-1918	2022
Shirai T, Sato H, Fujii H, Ishii T, Harigae H.	The feasible maintenance dose of corticosteroid in Takayasu arteritis in the era of biologic therapy	"Scand J Rheumatol	50(6)	462-468	2021

Sato H, Shirai T, Fujii H, Ishii T, Harigae H.	Cyclophosphamide-associated enteritis presenting with severe protein-losing enteropathy in granulomatosis with polyangiitis: A case report	World J Gastroenterol	27(20)	2657-2663	2021
内田治仁	2. 大型血管炎 2-1. 高安動脈炎 疫学・症状・診断基準	臨床放射線	66巻10号	1001-1006	2021
内田治仁	各種血管炎の診断・鑑別診断と治療、高安動脈炎	診断と治療	109巻10号	1385-1391	2021
Sugihara T, Nakaoka Y, Uchida HA, Yoshifuji H, Maejima Y, Watanabe Y, Amiya E, Tanemoto K, Miyata T, Umezawa N, Manabe Y, Ishizaki J, Shirai T, Nagafuchi H, Hasegawa H, Miyamae T, Niino H, Ito S, Ishii T, Isobe M, Harigai M	Establishing clinical remission criteria and the framework of a treat-to-target algorithm for Takayasu arteritis: Results of a Delphi Exercise carried out by an expert panel of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis.	Mod Rheumatol.	Nov 27: roab081	roab081(PMID34850081)	2021
杉原 毅彦	日本における巨細胞性動脈炎の臨床像	リウマチ科	65(5)	578-583	2021
杉原 毅彦	大型血管炎 巨細胞性動脈炎(側頭動脈炎) 治療・予後	臨床放射線	66	1071-1077	2021
杉原 毅彦	巨細胞性動脈炎にtocilizumabが保険適用となって、ステロイドの使い方は変わるか?	リウマチ科	65(6)	649-654	2021
Kushimoto K	HLA-B52 allele in giant cell arteritis may indicate diffuse large-vessel vasculitis formation: a retrospective study.	Arthritis Res Ther	23(1)	238	2021
Kadoba K, Watanabe R, Iwasaki T, Nakajima T, Kitagori K, Akizuki S, Murakami K, Nakashiman R, Hashimoto M, Tanaka M, Ohmura K, Morinobu A, Terao C, Yoshifuji H.	A susceptibility locus in the IL12B but not LILRA3 region is associated with vascular damage in Takayasu arteritis.	Sci Rep.	11(1)	13667	2021
Mukoyama H, Shirakashi M, Tanaka N, Iwasaki T, Nakajima T, Onizawa H, Tsuji H, Kitagori K, Akizuki S, Nakashiman R, Murakami K, Tanaka M, Morinobu A, Yoshifuji H.	The clinical features of pulmonary artery involvement in Takayasu arteritis and its relationship with ischemic heart diseases and infection.	Arthritis Res Ther.	23(1)	293	2021

班長:東信良	循環器病の診断と治療に関するガイドライン(班長:東信良),『末梢動脈疾患ガイドライン(日本循環器学会/日本血管外科学会合同ガイドライン)(2022年改訂版)』掲載:日本循環器学会 ホームページ公開のみ	日本循環器学会 ホームページ公開のみ		1-160	2022
Fukuoka K, Kishimoto M, Kawakami T, Komagata Y, Kaname S.	Plasmapheresis for systemic vasculitis.	Ther Apher Dial.	Mar 5	doi: 10.1111/1744-9987.13829. Online ahead of print.	2022
Endo A, Komagata Y, Yamagishi K, Kawashima S, Arimura Y, Kaname S.	Two distinct subsets of LDGs (low density granulocytes) in ANCA-associated vasculitis.	Mod Rheumatol.	Aug 31: 1918883.	doi:10.1080/14397595.2021.1918883. Online ahead of print.	2021
Kawashima S, Kishimoto M, Hibino T, Lee H, Sato Y, Komagata Y, Kaname S.	MPO-ANCA-positive Microscopic Polyangiitis Following COVID-19 Infection.	Intern Med.	61(4)	567-570	2022
Usui J, Kawashima S, Sada KE, Miyawaki Y, Nakazawa D, Itabashi M, Endo S, Endo T, Oda T, Ohya M, Kitagawa K, Nagasawa T, Hirahashi J, Hiromura K, Kawaguchi T, Takayasu M, Tsuboi N, Hirayama K, Muroso E, Yumura W, Kaname S, Furuichi K, Okada H, Narita I; Committee of Clinical Practical Guideline for Rapidly Progressive Glomerulonephritis 2020.	A digest of the evidence-based Clinical Practice Guideline for Rapidly Progressive Glomerulonephritis 2020.	Clin Exp Nephrol.	25(12)	1286-1291	2021
要 伸也	指定難病各論 膠原病関連腎疾患 ANCA関連3疾患(顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)	腎と透析	91巻1号	Page136-142	2021
川嶋聡子、要 伸也	RPGNの定義とRPGNの鑑別診断: AKD、CKDとの臨床鑑別	腎と透析	91巻3号	Page333-340	2021
要 伸也	腎疾患患者への薬の使い方:ANCA関連腎炎 リツキシマブ	腎と透析	91巻増刊	Page116-120	2021
松原 秀史, 要 伸也	小型血管炎・ANCA関連血管炎 顕微鏡的多発血管炎	臨床放射線	66巻10号	Page1151-1161	2021

<p>Yokoe Y, Tsuboi N, Imaizumi T, Kitagawa A, Karasawa M, Ozeki T, Endo N, Sawa Y, Kato S, Katsuno T, Maruyama S, Yamagata K, Utsui J, Nagata M, Sada KE, Sugiyama H, Amano K, Arimura Y, Atsumi T, Yuzawa Y, Dobashi H, Takasaki Y, Harigai M, Hasegawa H, Makino H, Matsuo S; Japan Research Committee of the Ministry of Health and Welfare for Intractable Vasculitis and for Intractable Renal Disease</p>	<p>Clinical impact of urinary CD11b and CD163 on the renal outcomes of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis.</p>	<p>Nephrol Dial Transplant</p>	<p>36(8)</p>	<p>1452-1463</p>	<p>2021</p>
<p>Miyagawa T, Iwata Y, Oshima M, Ogura H, Sato K, Nakagawa S, Yamamura Y, Kitajima S, Toyama T, Hara A, Kokubo S, Sakai N, Shimizu M, Furuichi K, Wada T.</p>	<p>Polyarteritis nodosa with perirenal hematoma due to the rupture of a renal artery aneurysm.</p>	<p>CEN Case Rep</p>	<p>10(2)</p>	<p>244-249</p>	<p>2021</p>
<p>Nakagawa S, Toyama T, Iwata Y, Oshima M, Ogura H, Sato K, Yamamura Y, Miyakawa T, Kitajima S, Hara A, Sakai N, Shimizu M, Wada T.</p>	<p>The relationship between the modified National Institute of Health activity and chronicity scoring system, and the long-term prognosis for lupus nephritis: A retrospective single-center study.</p>	<p>Lupus</p>	<p>30(11)</p>	<p>1739-1746</p>	<p>2021</p>
<p>Yamamura Y, Furuichi K, Toyama T, Oshima M, Ogura H, Sato K, Nakagawa S, Miyagawa T, Kitajima S, Hara A, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Ikeda H, Toma T, Takasawa K, Yachie A, Wada T.</p>	<p>Repeated Necrotizing Lymphadenitis with MEFV Gene Mutations</p>	<p>Intern Med</p>	<p>61(7)</p>	<p>1105-1110</p>	<p>2022</p>

<p>Abe T, Matsuo H, Abe R, Abe S, Asada H, Ashida A, Baba A, Eguchi K, Eguchi Y, Endo Y, Fujimori Y, Furuichi K, Furukawa Y, Furuya M, Furuya T, Hanafusa N, Hara W, Harada-Shiba M, Hasegawa M, Hattori N, Hattori M, Hidaka S, Hidaka T, Hirayama C, Ikeda S, Imamura H, Inoue K, Ishizuka K, Ishizuka K, Ito T, Iwamoto H, Izaki S, Kagitani M, Kaneko S, Kaneko N, Kanekura T, Kitagawa K, Kusaoi M, Lin Y, Maeda T, Makino H, Makino S, Matsuda K, Matsugane T, Minematsu Y, Mineshima M, Miura K, Miyamoto K, Moriguchi T, Murata M, Nagaisuma M, Nakae H, Narukawa S, Nohara A, Nomura K, Ochi H, Ohkubo A, Ohtake T, Okada K, Okado T, Okuyama Y, Omokawa S, Ojisaki N, Sakamoto Y, Sasaki S, Sato M, Seishima M, Shiga H, Shimohata H, Sugawara N, Sugimoto K, Suzuki Y, Suzuki M, Tajima T, Takikawa Y, Tanaka S, Taniguchi K, Tsuchida S, Tsukamoto T, Tsushima K, Ueda Y, Wada T, Yamada H, Yamada H, Yamaka T, Yamamoto K, Yokoyama Y, Yoshida N, Yoshioka T, Yamaji K.</p>	<p>The Japanese Society for Apheresis clinical practice guideline for therapeutic apheresis.</p>	<p>Ther Apher Dial</p>	<p>25(6)</p>	<p>728-876</p>	<p>2021</p>
<p>宮川太郎・岩田恭宜・和田隆志</p>	<p>抗好中球細胞質プロテナーゼ3抗体 (PR3-ANCA)</p>	<p>"臨床検査をいこなす</p>		<p>宮川太郎・岩田恭宜・和田隆志</p>	<p>抗好中球細胞質プロテナーゼ3</p>
<p>加治貴彰・北島信治・和田隆志</p>	<p>ANCA関連血管炎</p>	<p>日本臨牀</p>	<p>73(12)</p>	<p>1913-1921</p>	<p>2021</p>

Ken-ei Sada, Yoshiki Kojo, Jolyon Fairburn-Beech, Keiko Sato, Shoko Akiyama, Melissa K Van Dyke, Isao Mukai.	The prevalence, burden of disease, and healthcare utilization of patients with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis in Japan: a retrospective, descriptive cohort claims database study.	Modern Rheumatology	32(2)	380-386	2022
Ken-ei Sada, Atsushi Miyauchi, Daisuke Hashimoto, Riku Ino, Shigeru Nojima, Shingo Yamanaka, Masafumi Kawamura.	Recurrent atelectasis and brain infarction in a patient with anti-neutrophil antibody negative eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: a case report	BMC Rheumatology	5(1)	28	2021
Shinako Miyano, Nobuaki Michihata, Ken Ei Sada, Kazuaki Uda, Hiroki Matsui, Kiyohide Fushimi, Masaomi Nangaku, Hideo Yasunaga.	Comparison of fracture risk between proton pump inhibitors and histamine-2 receptor antagonists in ANCA-associated vasculitis patients: A nested case-control study.	Rheumatology (Oxford)	60(4)	1717-1723	2021

<p>Jun Ishizaki, Ayako Takemori, Kenta Horie, Daisuke Hiraoka, Koichiro Suemori, Takuya Matsumoto, Ken ei Sada, Koichi Amano, Masayoshi Harigai, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Katsuto Takenaka, Nobuaki Takemori, Hitoshi Hasegawa, Yohko Murakawa, Eri Muso, Atsushi Komatsuda, Satoshi Ito, Takao Fujii, Atsushi Kawakami, Izaya Nakaya, Takao Saito, Takafumi Ito, Nobuhito Hirawa, Masahiro Yamamura, Masaaki Nakano, Kosaku Nitta, Makoto Ogura, Taio Naniwa, Shoichi Ozaki, Junichi Hirahashi, Noriyoshi Ogawa, Tatsuo Hosoya, Takashi Wada, Satoshi Horikoshi, Yasushi Kawaguchi, Taichi Hayashi, Masaharu Yoshida, Tsuyoshi Watanabe, Daijiro Inaguma, Kazuhiko Tsuruya, Noriyuki Homma, Tsutomu Takeuchi, Naoki Nakagawa, Shinichi Takeda, Ritsuko Katabuchi, Masayuki Iwano, Tatsuya Atsumi, Shoichi Fujimoto, Shogo Banno, Takahiko Sugihara, Masaki Kobayashi, Kunihiro Yamagata, Sakae Homma, Hiroaki Dobashi, Naotake Tsuboi, Akihiro Ishizu, Hitoshi Sugiyama.</p>	<p>Usefulness of tissue inhibitor of metalloproteinase 1 as a predictor of sustained remission in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.</p>	<p>Arthritis Research and Therapy</p>	<p>23(1)</p>	<p>91</p>	<p>2021</p>
--	--	---------------------------------------	--------------	-----------	-------------

Keigo Hayashi, Haruki Watanabe, Yuri Ko Yamamura, Yosuke Asano, Yu Katayama, Sumie Hiramatsu-Asano, Keiji Ohnishi, Michiko Morishita, Mariko Narazaki, Yoshinori Matsumoto, Ken Ei Sada, Jun Wada.	Granulomatosis with polyangiitis with obstructive pneumonia progressing to hypertrophic pachymeningitis: A case report	Medicine	100(3)	e24028	2021
Haruki Watanabe, Ken-Ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Koichi Amano, Shouichi Fujimoto, Hiroaki Dobashi, Yukio Yuzawa, Kunihiro Yamagata, Eri Muso, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino.	Rationale of Concomitant Cyclophosphamide for Remission-Induction in Patients With Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Propensity Score-Matched Analysis of Two Nationwide Prospective Cohort Studies.	Mod Rheumatol.	31(1)	205-213.	2020
Fukui S, Ichinose K, Sada K-E, Matsumoto J, Harigai M, Amano K, Atsumi T, Takasaki Y, Dobashi H, Arimura Y, Hasegawa H, Yuzawa Y, Yamagata K, Tsuboi N, Maruyama S, Matsuo S, Makino H, Maeda T, Kawakami A.	Complement profile in microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis: a analysis using sera from a nationwide prospective cohort study.	Scandinavian Journal of Rheumatology.	49(4)	301-311.	2020
Utsunomiya M, Dobashi H, Odani T, Saito K, Yokogawa N, Nagasaka K, Takenaka K, Soejima M, Sugihara T, Hagiyaama H, Hirata S, Matsui K, Nonomura Y, Kondo M, Suzuki F, Nawata Y, Tomita M, Kihara M, Yokoyama-Kokuryo W, Hirano F, Yamazaki H, Sakai R, Nanki T, Koike R, Miyasaka N, Harigai M.	An open-label, randomized controlled trial of sulfamethoxazole-trimethoprim for Pneumocystis prophylaxis: results of 52-week follow-up.	Rheumatol Adv Pract.	4(2)	rkaa029	2020

Abe Y, Saeki K, Dobashi H, Kawakami T, Hayashi T, Kobayashi M, Kaname S, Harigai M, Tamura N.	Clinical characteristics and social productivity levels of patients with malignant rheumatoid arthritis based on a nationwide clinical database in Japan: annual survey from 2003 to 2013.	Mod Rheumatol.	31	1~8	2020
Yokoe Y, Tsuboi N, Imaizumi T, Kitagawa A, Karasawa M, Ozeki T, Endo N, Sawa Y, Kato S, Katsuno T, Maruyama S, Yamagata K, Usui J, Nagata M, Sada KE, Sugiyama H, Amano K, Arimura Y, Atsumi T, Yuzawa Y, Dobashi H, Takasaki Y, Harigai M, Hasegawa H, Makino H, Matsuo S.	Clinical impact of urinary CD11b and CD163 on the renal outcomes of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis.	Nephrol Dial Transplant.	35	gfaa097	2020
Sada KE, Ohashi K, Asano Y, Hayashi K, Morishita M, Watanabe H, Matsumoto Y, Fujimoto S, Takasaki Y, Yamagata K, Banno S, Dobashi H, Amano K, Harigai M, Arimura Y, Makino H; Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) and the Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan.	Treatment-related damage in elderly-onset ANCA associated vasculitis: Safety outcome analysis of two nationwide prospective cohort studies.	Arthritis Research & Therapy.	22(1)	236	2020
長坂憲治	ANCA関連血管炎に対するリツキシマブ治療	腎と透析	91	450	2021
長坂憲治	ANCA関連血管炎に伴う急速進行性糸球体腎炎	リウマチ科	66	477	2021

Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki, Noboru Hagino, Noriko Ikegaya, Satoshi Ito, Masanari Kodera, Naoko Nakano, Miki Suzuki, Shinya Kaname, Masayoshi Harigai	Clinical characteristics of patients with polyarteritis nodosa based on a nationwide database in Japan	Modern Rheumatology	Online ahead of print		2021
Kato K, Mizuno T, Koseki T, Ito Y, Hatanano M, Takahashi K, Yamada S, Tsuboi N.	Concomitant Proton Pump Inhibitors and Immune Checkpoint Inhibitors Increase Nephritis Frequency	In Vivo	35(5)	2831-2840	2021
Kobayashi A, Ito A, Shirakawa I, Tamura A, Tomono S, Shindou H, Hedde PN, Tanaka M, Tsuboi N, Ishimoto T, Akashi-Takamura S, Maruyama S, Suganami T.	Dietary Supplementation With Eicosapentaenoic Acid Inhibits Plasma Cell Differentiation and Attenuates Lupus Autoimmunity	Front Immunol	Jun 15; 12:650856	eCollection	2021
Yamaguchi K, Hirokura K, Maeno T et al.	Interstitial lung disease with myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in elderly patients	Rheumatol Int	41	1641-1650	2021
土屋尚之、川崎 綾	ANCA関連血管炎の遺伝的背景-日本人集団における知見.	臨床免疫・アレルギー科	76(4)	377-385	2021
土屋尚之、川崎 綾	ANCA関連血管炎のゲノム解析.	腎と透析	91(3)	439-443	2021
Ae R, et al.	Kawasaki disease and pediatric infectious diseases during the coronavirus disease 2019 pandemic.	J Pediatr	239	50-58.e2.	2021
Masuda H, et al.	Serum sodium level associated with coronary artery lesions in patients with Kawasaki disease.	Clin Rheumatol	125(11)	1555-1561	2022
Isobe M, Maejima Y, Saji M, Tateishi U.	Evaluation of tocilizumab for intractable Takayasu arteritis and 18F-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography for detecting inflammation under tocilizumab treatment.	J Cardiol	77(5)	539-544	2021

Tamura N, Maejima Y, Shiheido-Watanabe Y, Nakagama S, Isobe M, Sasano T.	Plasma apolipoprotein C-2 elevation is associated with Takayasu arteritis.	Sci Rep	11(1)	18958	2021
前嶋康浩	高安動脈炎（大動脈炎症候群）：病因・病態	臨床放射線	66(10)	995-1000	2021
前嶋康浩	血管炎の分類と診療のポイント：血管炎とは？：その分類と診療の考え方	診断と治療	109(10)	1332-1338	2021
前嶋康浩	免疫異常を基盤とした循環器疾患の患者の妊娠・出産について	心臓	54(2)	148-153	2022
Danda D, Manikuppam P, Tian X, Harigai M.	Advances in Takayasu arteritis: An Asia Pacific perspective.	Front Med (Lansanne).	9	952972	2022
Harigai M, Takada H.	Avacopan, a selective C5a receptor antagonist, for anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Mod Rheumatol	32	475-483	2022
Okakura I, Sada KE, Harigai M, Soma J, Amano K, Dobashi H, Atsumi T, Yuza Y, Fujimoto S, Sugihara T, Takasaki Y, Arimura Y, Makino H.	Chemoprophylaxis against <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia in Japanese patients with ANCA-associated vasculitis: an observational study.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/roac124	2022
Arimura Y, Sobue G, Hattori N, Takashima H, Harigai M, Nagata K, Makino H.	Intravenous immunoglobulin for chronic residual peripheral neuropathy in microscopic polyangiitis: A multicentre randomised double-blind trial.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/roac137	2022
Harigai M, Miyamae T, Hashimoto H, Yoshida A, Yamashita K, Nakaoka Y.	A Multicentre, Large-Scale, Observational Study of Tocilizumab in Patients with Takayasu Arteritis in Japan: The ACT-Bridge Study.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/roac099	2022
Sugihara T, Nakaoka Y, Uchida HA, Yoshifuji H, Maejima Y, Watanabe Y, Amiya E, Tanemoto K, Miyata T, Umezawa N, Manabe Y, Ishizaki J, Shirai T, Nagafuchi H, Hasegawa H, Miyamae T, Nishiiro H, Ito S, Ishii T, Isobe M, Harigai M.	Establishing clinical remission criteria and the framework of a treatment-target algorithm for Takayasu arteritis: Results of a Delphi exercise carried out by an expert panel of the Japanese Research Committee of the Ministry of Health, Labour and Welfare for intractable vasculitis.	Mod Rheumatol	32	930-937	2022

Watanabe R, Oshima M, Nishioka N, Sada KE, Nagasaka K, Akiyama M, Ando T, Higuchi T, Inoue Y, Kida T, Mutoh T, Nakabayashi A, Onishi A, Sakai R, Waki D, Yamada Y, Yajima N, Tamura N, Kaname S, Harigai M.	Systematic review and meta-analysis for 2023 clinical practice guidelines of the Japanese research committee of the ministry of health, labour, and welfare for intractable vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/roac114	2022
Harigai M, Kaname S, Tamura N, Dobashi H, Kubono S, Yoshida T.	Efficacy and Safety of Avacopan in Japanese Patients with Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Subanalysis of a Randomized Phase 3 Study.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/roac037	2022
Nagasaka K, Amano K, Dobashi H, Nagafuchi H, Sada KE, Komagata Y, Yamamura M, Kato M, Endo T, Nakaya I, Takeuchi T, Murakawa Y, Sugihara T, Saito M, Hayashi T, Furuta S, Tamura N, Karasawa K, Banno S, Endo S, Majima M, Kaname S, Arimura Y, Harigai M.	Nation-wide Cohort Study of Remission Induction Therapy using Rituximab in Japanese patients with ANCA-Associated Vasculitis: effectiveness and safety in the first six months.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/roac150	2022
Yoshinari M, Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tomaru U, Arimura Y, Amano K, Yuzawa Y, Sada KE, Atsumi T, Dobashi H, Hasegawa H, Harigai M, Matsuo S, Makino H, Ishizu A.	Low disease activity of microscopic polyangiitis in patients with anti-myosin light chain 6 antibody that disrupts actin rearrangement necessary for neutrophil extracellular trap formation.	Arthritis Res Ther	24	274	2022
Sada KE, Kaname S, Higuchi T, Furuta S, Nagasaka K, Nanki T, Tsuboi N, Arimura K, Dobashi H, Hiromura K, Bandono M, Wada T, Arimura Y, Makino H, Harigai M.	Validation of new ACR/EULAR 2022 classification criteria for anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/road017.	2023

Kurokawa M, Higuchi T, Hirahara S, Watanabe K, Yamada R, Nakamura S, Takada H, Majima M, Motoyama R, Hanaoka M, Katsumata Y, Harigai M.	A case of Takayasu arteritis complicated with acute pericarditis at initial presentation.	Mod Rheumatol Case Rep	7	154-159	2022
Konda N, Sakai R, Saeki K, Matsubara Y, Nakamura Y, Miyamae T, Nakaoka Y, Harigai M.	Nationwide clinical and epidemiological study of large-vessel vasculitis in Japan in 2017.	Mod Rheumatol		doi: 10.1093/mr/road019.	2023
Nagasaka K, Kaname S, Amano K, Kato M, Katsumata Y, Komagata Y, Sada KE, Tanaka E, Tamura N, Dobashi H, Nanki T, Harabuchi Y, Bando M, Homma S, Wada T, Harigai M.	Nation-wide survey of the treatment trend of microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan using the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare Database.	Mod Rheumatol	32(5)	915-922	2022
Abe Y, Kusaoi M, Tamada K, Yamaji K, Tamamura N.	Efficacy of plasma exchange therapy for diffuse alveolar hemorrhage in patients with microscopic polyangiitis.	Ther Apher Dial	26	515-521	2022
Harigai M, Kaname S, Tamura N, Dobashi H, Kubono S, Yoshida T.	Efficacy and Safety of Avacopan in Japanese Patients with Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Subanalysis of a Randomized Phase 3 Study.	Mod Rheumatol	33(2)	338-345	2022
Kawamata N, Abe Y, Makiyama A, Ashizawa K, Tamura N.	PET/CT Reveals Localized Inflammation in the Temporal, Vertebral, and Lower Extremity Arteries in Giant Cell Arteritis.	Clin Nucl Med		doi: 10.1097/RLU.0000000000004527.	2023
Abe Y, Kawamata N, Makiyama A, Ashizawa T, Hayashi T, Tamura N.	In lupus cystitis, is the urinary tract dilated or obstructed?	Immun Inflamm Dis		doi: 10.1002/ibd3.777.	2023
田村直人	血管炎の分類と疫学 血管炎の疫学.	日本臨床	80	1182-1186	2022
田村直人	中小型血管炎.	日本皮膚科学会雑誌	132	331	2022

Fuyu Ito, Toshiaki Oharaseki, Daisuke Tsukui, Yoshitaka Kimura, Tamiko Yanagida, Fukuko Kishi, Yoshio Yamakawa, Yosuke Kameoka, Shoichi Suzuki, Kazuo Suzuki, Osamu Suzuki, Noriko N Miura, Naohito Ohno, Kei Takahashi, Hajime Kono, Kazuo Suzuki	Beneficial effects of anti-apolipoprotein A-2 on an animal model for coronary arteritis in Kawasaki disease.	J Clin Med.	12	292	2022
Takafumi Tomizuka, Hirotoshi Kikuchi, Mai Okubo, Kurumi Asako, Satoshi Miyata, Hajime Kono	Natural History of Behçet's Disease Focusing on Remission of Oral Ulcers.	Modern rheumatology			2022
中島 暎, 河野 肇	【好酸球性消化管疾患および類縁・鑑別疾患】多発血管炎性肉芽腫症(ウェゲナー肉芽腫)	消化器・肝臓内科	11	181-185	2022
Takeno M, Dobashi H, Tanaka Y, Kono H, Sugii S, Kishimoto M, Cheng S, McCue S, Paris M, Chen M, Ishigatsubo Y.	Apremilast in a Japanese subgroup with Behçet's syndrome: Results from a Phase 3, randomised, double-blind, placebo-controlled study	Mod Rheumatol	32	413-421	2022
Ponte C, Grayson PC, Robson JC, Suppiah R, Gribbons KB, Judge A, Craven A, Khalid S, Hutchings A, Watts RA, Merkel PA, Luqmani RA; DCVAS Study Group.	2022 American College of Rheumatology/EULAR classification criteria for giant cell arteritis.	Ann Rheum Dis	81	1647-1653	2022
Grayson PC, Ponte C, Suppiah R, Robson JC, Gribbons KB, Judge A, Craven A, Khalid S, Hutchings A, Danda D, Luqmani RA, Watts RA, Merkel PA; DCVAS Study Group.	2022 American College of Rheumatology/EULAR classification criteria for Takayasu arteritis	Ann Rheum Dis	81	1654-1660	2022

Ponte C, Grayson PC, Robson JC, Suppiah R, Gribbons KB, Judge A, Craven A, Khalid S, Hutchings A, Watts RA, Merkel PA, Luqmani RA; DCVAS Study Group	2022 American College of Rheumatology/EULAR Classification Criteria for Giant Cell Arteritis	Arthritis Rheumatol	74	1881-1889	2022
Grayson PC, Ponte C, Suppiah R, Robson JC, Gribbons KB, Judge A, Craven A, Khalid S, Hutchings A, Danda D, Luqmani RA, Watts RA, Merkel PA; DCVAS Study Group	2022 American College of Rheumatology/EULAR Classification Criteria for Takayasu Arteritis	Arthritis Rheumatol	74	1872-1880	2022
Grayson PC, Ponte C, Suppiah R, Robson JC, Craven A, Judge A, Khalid S, Hutchings A, Luqmani RA, Watts RA, Merkel PA; DCVAS Study Group	2022 American College of Rheumatology/European Alliance of Associations for Rheumatology Classification Criteria for Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis	Ann Rheum Dis	81	309-314	2022
Robson JC, Grayson PC, Ponte C, Suppiah R, Craven A, Judge A, Khalid S, Hutchings A, Watts RA, Merkel PA, Luqmani RA; DCVAS Investigators.	2022 American College of Rheumatology/European Alliance of Associations for Rheumatology classification criteria for granulomatosis with polyangiitis	Ann Rheum Dis	81	315-320	2022
Suppiah R, Robson JC, Grayson PC, Ponte C, Craven A, Khalid S, Judge A, Hutchings A, Merkel PA, Luqmani RA, Watts RA; DCVAS Study Group	2022 American College of Rheumatology/European Alliance of Associations for Rheumatology classification criteria for microscopic polyangiitis	Arthritis Rheumatol	74	400-406	2022
Grayson PC, Ponte C, Suppiah R, Robson JC, Craven A, Judge A, Khalid S, Hutchings A, Luqmani RA, Watts RA, Merkel PA; DCVAS Study Group	2022 American College of Rheumatology/European Alliance of Associations for Rheumatology Classification Criteria for Eosinophilic Granulomatosis With Polyangiitis	Arthritis Rheumatol	74	386-392	2022

Robson JC, Grayson PC, Ponte C, Suppi ah R, Craven A, Judge A, Khalid S, Hutchings A, Watts R A, Merkel PA, Luqmani RA; DCVAS Study Group	2022 American College of Rheumatology/European Alliance of Associations for Rheumatology Classification Criteria for Granulomatosis With Polyangiitis	Arthritis Rheumatol	74	393-399	2022
Walsh M, Collister D, Zeng L, Merkel PA, Pusey CD, Guyatt G, Au Peh C, Szpirt W, Ito-Hara T, Jayne DRW; Plasma exchange and glucocorticoid dosing for patients with ANCA-associated vasculitis BMJ Rapid Recommendations Group.	The effects of plasma exchange in patients with ANCA-associated vasculitis: an updated systematic review and meta-analysis.	BMJ.	376	e064604	2022
Shimajima Y, Kishida D, Ichikawa T, Kida T, Yajima N, Omura S, Nakagomi D, Abe Y, Kadoya M, Takizawa N, Nomura A, Kukida Y, Kondo N, Yamano Y, Yanagida T, Endo K, Hirata S, Matsui K, Takeuchi T, Ichinose K, Kato M, Yanai R, Matsuo Y, Nishioka R, Okazaki R, Takata T, Ito T, Moriyama M, Takatani A, Miyawaki Y, Ito-Ihara T, Kawaguchi T, Kawahito Y, Sekijima Y.	Hypertrophic pachymeningitis in ANCA-associated vasculitis: a cross-sectional and multi-institutional study in Japan (J-CANVAS).	Arthritis Res Ther.	24(1)	204	2022

Jayne D, Walsh M, Merkel PA, Peh CA, Szpirt W, Puéchal X, Fujimoto S, Hawley C, Khalidi N, Jones R, Flossmann O, Wald R, Girard L, Levin A, Gregorini G, Harper L, Clark W, Pagnoux C, Specks U, Smyth L, Ito-Ihara T, de Zoysa J, Brezina B, Mazzetti A, McAlear CA, Reidlinger D, Mehta S, Ives N, Brettell EA, Jarrett H, Wheatley K, Broadhurst E, Casian A, Pusey CD.	Plasma exchange and glucocorticoids to delay death or end-stage renal disease in anti-neutrophil cytoplasm antibody-associated vasculitis: PEXIVAS non-inferiority factorial RCT.	Health Technol Assess.	26(38)	1-60	2022
Kishimoto M, Deshpande GA, Fukui S, Komagata Y, Ohyama M, Kaname S.	Upadacitinib for moderate-to-severe atopic dermatitis, in adults and adolescents 12 years and older: review of international and Japanese populations.	Expert Rev Clin Immunol.	19	19-35	2023
駒形嘉紀	リウマチ・膠原病における新たな潮流 ANCA関連血管炎.	アレルギーの臨床	42	439-443	2022
駒形嘉紀	膠原病・自己免疫疾患と神経障害 —診断と治療の進歩 ANCA関連血管炎.	炎症と免疫	30	339-342	2022
駒形嘉紀	血管炎の薬物治療/副腎皮質ステロイド	日本臨床増刊号	80 (Suppl.8)	1286-1290	2022
駒形嘉紀	顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症に対するリツキシマブ	リウマチ科	68	515-520	2022
Miyawaki Y, Fujii T, Anan K, Koderama M, Kikuchi M, Sada KE, Nagasaka K, Bando M, Sugiyama H, Kaname S, Harigai M, Tamura N.	Concordance between practice and published evidence in the management of ANCA-associated vasculitis in Japan: a cross-sectional web-questionnaire survey.	Mod Rheumatol.	2022 Oct 118.	doi: 10.1093/mr/roac118. Online ahead of print. PMID: 36181464	2022
Bando M, Homma S, Harigai M	MPO-ANCA positive interstitial pneumonia: Current knowledge and future perspectives.	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis.	38(4)	e2021045	2022

岩田 慈、藤井 隆夫	血管炎（皮膚症状以外）	炎症と免疫	31(2)	71-74	2023
Nishibata Y, Nonokawa M, Tamura Y, Higashi R, Suzuki K, Hayashi H, Masuda S, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Ishizu A.	Possible implication of intermolecular epitope spreading in the production of anti-glomerular basement membrane antibody in anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Clin Exp Rheumatol	40(4)	691-704	2022
Kawakami T, Yokoyama K, Ikeda T, Nishibata Y, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	The presence of neutrophil extracellular traps in superficial venous thrombosis of Behcet's disease.	J Dermatol	49	741-745	2022
Senda A, Sasai R, Kato K, Nishibata Y, Masuda S, Ishizu A, Takahara N.	Involvement of Neutrophil Extracellular Traps in the Pathogenesis of Glomerulonephritis in a Case of Systemic Lupus Erythematosus and Anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis Overlap Syndrome.	Clin Exp Nephrol Case Rep	11(3)	339-346	2022
Yoshinari M, Hattanda F, Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tomaru U, Ishizu A.	A novel anti-neutrophil extracellular trap antibody targeting myosin light chain 6 in microscopic polyangiitis.	J Rheumatol	49(11)	1286-1288	2022
Kudo T, Nakazawa D, Watanabe-Kusunoki K, Kanda M, Shiratori-Aso S, Abe N, Nishio S, Koga J, Iwasaki S, Tsuji T, Fukasawa Y, Yamasaki M, Watanabe M, Masuda S, Tomaru U, Murakami M, Aratani Y, Ishizu A, Atsumi T.	Cyclophilin D regulates NETosis and inflammation in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Arthritis Rheumatol	75(1)	71-83	2023
Nakazawa D, Takeda Y, Kanda M, Tomaru U, Ogawa H, Kudo T, Shiratori-Aso S, Watanabe-Kusunoki K, Ueda Y, Miyoshi A, Hattanda F, Nishio S, Uozumi R, Ishizu A, Atsumi T.	Transcriptional dynamics of granulocytes in direct-response to SARS-CoV-2.	FEBS Open Bio	13(1)	60-71	2023

Kawakami T, Yokoyama K, Ikeda T, Nishibata Y, Sakiko M, Tomaru U, Ishizu A.	Similar deposition of neutrophil extracellular traps in the dermis among COVID-19-associated IgA vasculitis, post-COVID-19 vaccination IgA vasculitis, and COVID-19-unrelated IgA vasculitis.	J Dermatol				in press
Inoue D, Uchida T, Komatsu S, Sugisaki K, Yamada M, Ogawa H, Ishizu A, Onda T.	Anti-PLA2R Antibody Development During NELL1-Associated Membranous Glomerulonephritis Treatment: A Case Report.	Kidney Med				in press
Kawakami T.	Surgical procedures and innovative approaches for vitiligo regenerative treatment and melanocytorrhagy.	J Dermatol	49	391-401		2022
Ikeda T, Yokoyama K, Kawakami T.	Heliotrope-like manifestation of adult-onset Still disease with macrophage activation syndrome: a case-based review.	J Dermatol	49	736-740		2022
Iwama E, Yokoyama K, Ikeda T, Kawakami T.	Incompetent saphenous vein in patients with lower leg dermatitis and cramps.	J Cutan Immunol Allergy	5	146-147		2022
Kawakami T, Nakade I, Tamura Y, Ito F, Nishibata Y, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	Typical cutaneous small-vessel vasculitis induced by combined injection of anti-phosphatidylserine/prothrombin complex antibody and anti-LAMP-2 antibody in normal rats.	J Dermatol	49	1233-1237		2022
Inoue D, Uchida T, Komatsu S, Sugisaki K, Yamada M, Ogawa H, Ishizu A, Onda T.	Anti-PLA2R Antibody Development During NELL1-Associated Membranous Glomerulonephritis Treatment: A Case Report.	Kidney Med				in press
Ikeda T, Yokoyama K, Kawakami T.	Overlapping acute generalized exanthematous pustulosis drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms induced by a second dose of the Moderna COVID-19 vaccine.	J Dermatol	49	e446-e447		2022
Dong Y, Kawakami T, Komatsu T.	Regulation of adhesion molecules and basic fibroblast growth factor 2 in non-segmental vitiligo-derived primary melanocytes.	J Dermatol Sci	108	109-111		2022

Kawakami T, Yokoyama K, Ikeda T, Tomizawa H, Ueki S.	The presence of eosinophil extracellular trap cell death in the affected skin of eosinophilic granulomatosis with polyangiitis.	J Dermatol		Dec 13. doi: 10.1111/1346-8138.16656.	2023
山本俊幸、山崎研志、山中恵一、小宮根真弓、川上民裕、山元修、金蔵拓郎、樋口哲也、高橋隼也、松島由明、菊池信之	壊疽性膿皮症診療の手引き2022	日本皮膚科学会雑誌	132	1415-1440	2022
Satomi H, Katano H, Kanno H, Kobayashi M, Ohkuma Y, Hashidume N, Usui T, Tsukada S, Ito I	An autopsy case of fulminant myocarditis after severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 vaccine inoculation.	Pathol. Int.	72(10)	519-524	2022
Yokouchi Y, Oharaseki T, Asakawa N, Makino H, Takahashi K	Histological studies shed new light on the initiation and characteristics of calcification of coronary artery aneurysms in Kawasaki disease.	Cardiovasc Pathol	Epub 2022 Jun 19	Nov-Dec;61:107456.	2022
Ishizu A, Kawakami T, Kanno T, Takahashi K, Miyazaki T, Ikeda E, Oharaseki T, Ogawa Y, Onimaru M, Kurata M, Nakazawa D, Muso E, Harigai M	Expert perspectives on pathological findings in vasculitis	Mod Rheum	33(1)	1-11	2023
Ito F, Oharaseki T, Tsukui D, Kimura Y, Yanagida T, Kishi F, Yamakawa Y, Kameoka Y, Suzuki S, Uno K, Suzuki O, Miura N, Ohno N, Takahashi K, Konno H, Suzuki K :	Beneficial effects of anti-apolipoprotein A-2 on an animal model for coronary arteritis in Kawasaki disease.	Pediatr Rheumatol Online J	Dec 2022;20(1)	119	2022
大原関 利章, 高橋啓	系統的血管炎の歴史と分類	日本臨床	80 (8)	1177-1181	2022
Tozaki N., Tawada C., Niwa H., Mizutani Y., Shu E., Kawase A., Miwa Y., Ohnishi H., Sasai H., Miyako K., Hosokawa J., Kato A., Kobayashi K., Miyazaki T., Shirakami Y., Shimizu M., Iwata H.	A case of VEXAS syndrome (vacuoles, E1 enzyme, X-linked, autoinflammatory, somatic) with decreased oxidative stress levels after oral prednisone and tocilizumab treatment.	Front Med (Lausanne)	9	1046820	2022

宮崎龍彦	【血管炎の診療update-診断・治療の新展開-】血管炎の病理.	日本臨床	80(8)	1170-1176	2022
Manabe Y, Ishibashi T, Asano R, Tonomura S, Maeda Y, Motoooka D, Ueda J, Yanagawa M, Edamoto-Taira Y, Chikaishi-Kirino T, Masaki T, Inagaki T, Nakamura S, Katada Y, Okazawa M, Narazaki M, Ogo T, Kumano A, Nakaoka Y*.	Gut Dysbiosis is associated with aortic aneurysm formation and progression in Takayasu arteritis	Arthritis Res Ther.	25(1)	46	2023
Konagai N, Kamiya CA, Nakanishi A, Iwanaga N, Sawada M, Kakigano A, Kanagawa T, Eto S, Nishida Y, Nakaoka Y, Yoshimatsu J.	Safe use of tocilizumab in pregnant women with Takayasu arteritis: three case studies.	RMD Open.	9(1)	e002996	2023
Ishibashi T, Nakaoka Y	Biomarkers for Takayasu arteritis: Which is the most promising?	Int J Cardiol.	371	418-419	2023
Yaku A, Inagaki T, Asano R, Okazawa M, Mori H, Sato A, Hia F, Masaki T, Manabe Y, Ishibashi T, Vandebon A, Nakatsuka Y, Akaki K, Yoshinaga M, Uehata T, Mino T, Ishibashi-Ueda H, Morinobu A, Tsujimura T, Ogo T, Nakaoka Y*, Takeuchi O*.	Regnase-1 prevents pulmonary arterial hypertension via mRNA degradation of Interleukin-6 and Platelet-Derived Growth Factor in alveolar macrophages	Circulation	146(13)	1006-1022	2022
Nakaoka Y*, Yanagawa M, Hata A, Yamashita K, Okada N, Yamakido S, Hayashi H, Jayne D.	Vascular imaging of patients with refractory Takayasu arteritis treated with tocilizumab: post hoc analysis of a randomized controlled trial.	Rheumatology (Oxford).	61(6)	2360-2368	2022
中岡 良和	トシリズマブ治療中の高安動脈炎患者における画像検査所見の重要性	リウマチ科	69(3)	322-328	2023
中岡 良和	肺動脈性肺高血圧症の病態解明と新規治療の展望	医学のあゆみ	284(5)	408-414	2023

中岡 良和	肺動脈性肺高血圧症における慢性炎症の起源はどこか	医学のあゆみ	283(14)	1257-1264	2022
中岡 良和	高安動脈炎の病態と管理	循環器内科	92(5)	521-527	2022
中岡 良和	高安動脈炎の病態と治療	Vita	39 (4)	39-46	2022
中岡 良和	トシリズマブ	日本臨床	80(8)	1297-1303	2022
中岡 良和	肺高血圧症病態における炎症の関与	呼吸器内科	41(6)	544-552	2022
石井智徳	治療法の再整理とアップデートのために専門家による私の治療 大動脈炎症候群(高安動脈炎) (解説)	日本医事新報	5143	42-43	2022
白井剛志 石井智徳	【ステロイドからの離脱を目指す膠原病診療】高安動脈炎にtocilizumabが保険適用となって、ステロイドの使い方は変わるか?	リウマチ科	65 (6)	642-648	2021
白井剛志 石井智徳	【リウマチ性疾患のリスク因子・予後予測因子】大型血管炎の予後予測因子と寛解維持	リウマチ科	64 (4)	461-468	2020
Sugihara T, Uchida HA, Yoshifuji H, Maejima Y, Naniwa T, Katsumata Y, Okazaki T, Ishizaki J, Murakawa Y, Ogawa N, Dobashi H, Horita T, Tanaka Y, Furuta S, Takeuchi T, Komagata Y, Nakaoka Y, Harigai M.	Association between the patterns of large-vessel lesions and treatment outcomes in patients with large-vessel giant cell arteritis	Modern Rheumatology	2022Oct 11 :roac 122	doi: 10.1093/mr/roac122	2022
Sugihara T, Kawahito Y, Morinobu A, Kaneko Y, Seto Y, Kojima T, Ito, Kohno M, Nakayama T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Murashima A, Mori M, Tanaka E, Hirata S, Kishimoto M, Yamanaoka H, Kojima M, Harigai M:	Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2020 update of the Japanese college of rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology	32	313-322	2022

Sugihara T	Treatment strategies for elderly-onset rheumatoid arthritis in the new era.	Modern Rheumatology	32	493-499	2022
綾野雅宏、新納宏昭	巨細胞性動脈炎	日本臨床	80(8)	1223-1227	2022
吉藤 元	大型血管炎の新分類基準	リウマチ科	67(3)	318-323	2022
渡部芳子	【血管炎の診療update-診断・治療の新展開-】血管炎症候群の症候と診断 バージャー病	日本臨床	80 (8)	1228-1232	2022
Fukuoka K, Kishimoto M, Kawakami T, Komagata Y, Kaname S.	Plasmapheresis for systemic vasculitis.	Ther Apher Dial	26(3)	493-506.	2022
Endo A, Komagata Y, Yamagishi K, Kawashima S, Arimura Y, Kaname S.	Two distinct subsets of LDGs (low density granulocytes) in ANCA-associated vasculitis.	Modern Rheumatology	32(2)	396-405	2022
Kawazoe M, Nanki T, Hagino N, Ikegaya N, Ito S, Kodera M, Nakano N, Suzuki M, Kaname S, Habase in Japan	Clinical characteristics of patients with polyarteritis nodosa based on a nationwide database	Modern Rheumatology	32	598-605	2022
Mase K, Saito C, Utsui J, Arimura Y, Nitta K, Wada T, Maizumi H, Muso E, Hirawara N, Kobayashi M, Yumura W, Fujimoto S, Nakagawa N, Ito T, Yuzawa Y, Matsuo S, Yamagata K.	The efficacy and safety of mizoribine for maintenance therapy in patients with myeloperoxidase anti-neutrophil cytoplasmic antibody (MPO-ANCA)-associated vasculitis: the usefulness of serum mizoribine monitoring	Clin Exp Nephrol	26(11)	1092-1099.	2022/7/1

Kenji Nagasaka, Koichi Amano, Hiroaki Dobashi, Hiroko Nagafuchi, Ken-Ei Sada, Yoshinori Komagata, Masahiro Yamamura, Masaru Kato, Tomomi Endo, Izaya Nakaya, Tsutomu Takeuchi, Yohko Murakawa, Takahiko Sugihara, Masaya Saito, Taichi Hayashi, Shunsuke Furuta, Naoto Tamura, Kazunori Karasawa, Shogo Banno, Shuichiro Endo, Masako Majima, Shinya Kaname, Yoshiriro Arimura, Masayoshi Harigai.	Nation-wide Cohort Study of Remission Induction Therapy using Rituximab in Japanese patients with ANCA-Associated Vasculitis: effectiveness and safety in the first six months.	Mod Rheumatol	Online ahead of print.	Online ahead of print.	2022
Keisuke Ono, Mitsumasa Kishimoto, Gautam A. Deshpande, Sho Fukui, Satoshi Kawaai, Haruki Sawada, Minoru Matsura, Valeria Rios Rodriguez, Fabian Proft, Kurisu Tada, Naoto Tamura, Yoshinori Taniguchi, Ayako Hirata, Hideto Kaiyama, Shigeyoshi Tsuji, Yuko Kaneko, Hiroaki Dobashi, Tadashi Okano, Yoichiro Hataji, Akimichi Morita, Masato Okada, Yoshinori Komagata, Clementina López Medina, Anna Moltó, Maxime Dougados, Tadakazu Hisamatsu, Tetsuya Tomita, Shinya Kaname.	Clinical characteristics of patients with spondyloarthritis and inflammatory bowel disease versus inflammatory bowel disease-related arthritis.	Rheumatol Int.		42(10):1751-1766.	2022
土橋浩章, 亀田智広.	【血管炎の診療update-診断・治療の新展開-】血管炎症候群の症候と診断 顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症.	日本臨床.	80巻8号	1240-1244.	2022
土橋浩章, 亀田智広.	血管炎を伴うRA.	リウマチ科.		68(6):673-676.	2022
長坂憲治	ANCA関連血管炎の診療ガイドライン	日本臨床	80	1270	2022

梅田 良祐、坪井 直毅	腎臓症候群(第3版)-その他の腎臓疾患を含めて-】各種病態にみられる腎障害 膠原病,血管炎 全身性エリテマトーデス	日本臨床	別冊	p236-242	2022
坪井直毅	【腎炎・ネフローゼ症候群診療の進歩】ANCA関連腎炎診療の進歩	日本腎臓学会誌	64(7)	p799-807	2022
Kato K, Mizuno T, Koseki T, Ito Y, Takahashi K, Tsuboi N, Yamada S.	Frequency of Immune Checkpoint Inhibitor-Induced Vasculitides: An Observational Study Using Data From the Japanese Adverse Drug Event Report Database.	Front Pharmacol.	2022 Mar 25;13:803706.		2022
Tabei A, Sakairi T, Ohishi Y, Watanabe M, Nakasatomi M, Hamatani H, Ikeuchi H, Kaneko Y, Hiro-mura K.	Otitis media with ANCA-associated vasculitis: A retrospective study of 30 patients	Mod Rheumatol	32	923-929	2022
Kawasaki A, Sada KE, Kusumawati P A, Hirano F, Kobayashi S, Nagasaka K, Sugihara T, Ono N, Fujimoto T, Kusaoi M, Tamura N, Kusanagi Y, Itoh K, Sumida T, Yamagata K, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N.	Association of HLA class II alleles with risk of relapse in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody positive vasculitis in the Japanese population.	Frontiers in immunology	14:1119064	doi: 10.3389/fimmu.2023.1119064	2023
土屋尚之、川崎 綾	ANCA関連血管炎の遺伝要因.	日本臨床	80(8)	1196-1202	2022
前嶋 康浩	高安動脈炎 (Ⅲ. 血管炎症候群の症候と診断)	日本臨床	80(8)	1216-1222	2022